

日本循環器学会 会 告

Contents

- 1 【重要】会告の発刊月・年間発刊数変更のお知らせ
- 2 2015年度実施 代議員（社員）選挙結果
- 4 第80回日本循環器学会学術集会
 - 開催概要
 - プレレジストレーションのお知らせ
 - プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題要項
 - チーム医療セッション（旧：コメディカルセッション）開催要項
 - 関連会合開催申し込みについてのご案内
 - 宿泊・交通のご案内
- 43 循環器専門医制度
 - 2016年度循環器専門医資格認定審査受験予定の方へ：
AHAトレーニングコース早期受講のお勧め
 - 2016年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について
 - 専門医認定更新の手続きについて
 - 循環器専門医認定更新のご案内
 - 専門医認定更新研修の必修化について
 - 循環器専門医カード再発行申請書
- 52 地方会・関連学会・研究会情報
 - 日本循環器学会地方会情報
 - 海外学会情報
 - その他の学会開催情報
 - 研究助成
- 54 ACLS 講習会情報
- 59 映像教材販売のご案内
- 62 和文論文投稿誌「心臓」のご案内
- 63 事務局からのお知らせ
 - 登録事項変更届・学会誌 Circulation Journal の送本不要申告書
 - 「準会員」制度のご案内・会員区分変更届

2016 No.1

【重要】会告の発刊月・年間発刊数変更のお知らせ

一般社団法人日本循環器学会
会員各位

平素は学会活動にご尽力を賜り誠にありがとうございます。

さて、現在「会告」は年間で6回(隔月・偶数月)に発刊しておりますが、この度、2015年度第3回理事会(2015年12月4日開催)におきまして、発刊月および年間発刊数の変更について承認がなされました。この理由としまして、現在の学会の収支に鑑み諸々予算の削減を目指しており、本会内において特に大きな支出となっております「会告」の制作費用および発送費用の削減を実施する必要があると判断されたためでございます。

今後の本会の継続的な発展とそれによる社会への貢献を実施するためにも、会員の先生方におかれましては本趣旨をご理解賜りまして、発刊月および年間発刊数の変更につきましてご承諾を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、先生方の益々のご発展をお祈り申し上げます。

一般社団法人日本循環器学会
代表理事 小川 久雄

〈会告の発刊月・年間発刊数の変更(2016年発刊分から実施)〉

現 行：2月・4月・6月・8月・10月・12月(年間6回発刊)

↓

変更後：2月・5月・8月・11月 (年間4回発刊)

※会告のナンバーについて

2016年のみ

No.1：2015年12月／

No.2：2016年2月／No.3：5月／No.4：8月／No.5：11月

2017年以降

No.1：2017年2月／No.2：5月／No.3：8月／No.4：11月

2015年度実施 代議員(社員)選挙結果

当選者一覧

(支部・カナ順, 敬称略)

北海道支部

川原田修義	丹野 雅也	長谷部直幸	三木 隆幸
齋藤 重幸	土橋 和文	松居 喜郎	村中 敦子
玉木 長良	筒井 裕之	三浦 哲嗣	横式 尚司

東北支部

伊藤 健太	奥村 謙	齋藤 修一	富岡 智子	森野 禎浩	渡邊 博之
伊藤 貞嘉	久保田 功	下川 宏明	福田 浩二	横山 齊	
伊藤 宏	齋木 佳克	竹石 恭知	堀内 久徳	渡邊 哲	

関東甲信越支部

赤石 誠	磯部 光章	小菅 雅美	先崎 秀明	西崎 光弘	南野 徹
赤澤 宏	井上 晃男	木庭 新治	副島 京子	新田 隆	箕浦 慶乃
明石 嘉浩	岩永 史郎	小林 洋一	代田 浩之	野上 昭彦	宮内 靖史
阿古 潤哉	上田 敏彦	小林 欣夫	大門 雅夫	萩原 誠久	本村 昇
浅井 邦也	小川 洋司	小林 義典	高瀬 凡平	原 英彦	百村 伸一
足立 健	小野 稔	小室 一成	高梨秀一郎	姫野 秀朗	諸井 雅男
阿部 七郎	尾畑 純栄	小山 潤	高野 仁司	平尾 見三	安 隆則
天野 篤	加藤 律史	齋藤 綾	瀧本 英樹	平山 篤志	安武 正弘
荒井 裕国	金古 善明	佐藤 明	田口 功	福田 恵一	山科 章
伊苅 裕二	苅尾 七臣	佐藤 徹	近森大志郎	福田 宏嗣	吉野 秀朗
池田 宇一	川名 正敏	佐藤 直樹	哲翁-塚田 弥生	古川 佳子	吉村 道博
池田 隆徳	川端美穂子	志賀 剛	東條美奈子	朴 仁三	
池脇 克則	絹川弘一郎	清水 渉	中井 俊子	細谷 弓子	
石上 友章	木村 一雄	庄田 守男	中尾 倫子	本江 純子	
石川 利之	久木山清貴	陣崎 雅弘	中里 祐二	前田 知子	
石川 義弘	倉林 正彦	鈴木 孝明	中村 正人	益田 宗孝	
石津 智子	小池 朗	瀬尾 由広	西岡 利彦	松本 万夫	

東海支部

味岡 正純	因田 恭也	神谷 春雄	高木 靖	野田 俊之	室原 豊明
天野 哲也	碓氷 章彦	川崎 雅規	高島 浩明	林 秀晴	元山 貞子
井澤 英夫	大手 信之	近藤 隆久	武田 裕	坂東 泰子	山田 典一
伊藤 正明	尾崎 行男	佐藤 洋	永田 浩三	三谷 義英	渡邊 英一
今中 恭子	小野寺知哉	新保 秀人	西垣 和彦	湊口 信也	

北陸支部

市田 路子	臼田 和生	北山 道彦	茅田 浩	山岸 正和
井野 秀一	川尻 剛照	竹村 博文	水野 清雄	

近畿支部

赤尾 昌治	安斉 俊久	石田 達郎	糸井 利幸	大倉 宏之	勝間田敬弘
赤阪 隆史	池田 義	石原 正治	江本 憲昭	岡村 吉隆	川合 宏哉
浅井 徹	石坂 信和	泉 知里	大北 裕	尾野 亘	川上 利香

北風 政史	是恒 之宏	白山 武司	中川 義久	的場 聖明	夜久 均
木村 剛	斎藤 能彦	新家 俊郎	成子 隆彦	真野 敏昭	安田 聡
久保 隆史	佐賀 俊彦	高木 雅彦	平田 健一	三浦 克之	山下 静也
小垣 滋豊	坂田 泰史	瀧原 圭子	古川 裕	南野 哲男	山本 裕美
小林順二郎	澤 芳樹	竹花 一哉	星賀 正明	宮坂 陽子	葭山 稔
小林 成美	塩島 一朗	谷口 繁樹	堀江 稔	宮崎 俊一	
小原 幸	志手 淳也	寺崎 文生	増山 理	森下 竜一	

中国支部

伊藤 浩	木原 康樹	末田泰二郎	名尾 朋子	濱野 公一	山本 一博
上村 史朗	佐野 俊二	田邊 一明	中野由紀子	久留 一郎	吉栖 正生
織田 禎二	清水 昭彦	種本 和雄	西村 元延	矢野 雅文	

四国支部

泉谷 裕則	風谷 幸男	北川 哲也	中岡 洋子	細川 忍	水重 克文
渡橋 和政	北岡 裕章	佐田 政隆	檜垣 實男	堀井 泰浩	

九州支部

安藤 猷児	江頭 健輔	甲斐 久史	田中 朋子	廣岡 良隆	三浦伸一郎
池田 聡司	大石 充	海北 幸一	田中 康博	福井 寿啓	宮田 昌明
石川 司朗	大草 知子	河野 浩章	樗木 晶子	福本 義弘	宮本 伸二
上野 高史	大屋 祐輔	北村 和雄	中川 幹子	掃本 誠治	森田 茂樹
浦田 秀則	小川 久雄	朔 啓二郎	野出 孝一	前村 浩二	山部 浩茂
江石 清行	小川 正浩	高橋 尚彦	濱崎 秀一	蒔田 直昌	

第80回日本循環器学会学術集会 (JCS2016)

開催概要

会 期：2016年 3月18日(金)～20日(日)
会 長：下川 宏明 (東北大学大学院医学系研究科循環器内科学)
会 場：仙台国際センター, 東北大学百周年記念会館川内萩ホール
仙台市民会館

メインテーマ：日循80年 日本の循環器病学の過去・現在・未来

—東日本大震災復興 5周年—

The Past, Present and Future of Cardiovascular Medicine in Japan

—The 5th Anniversary of the Great East Japan Earthquake—

1. 一般演題(口述, ポスター, Featured Research Session)

2. 美甘レクチャー

Paul M. Vanhoutte (University of Hong Kong, Hong Kong)

座長：矢崎 義雄 (国際医療福祉大学)

3. 真下記念講演

山本 雅之 (東北大学 医化学分野/東北メディカル・メガバンク機構)

座長：篠山 重威 (宇治病院)

4. 会長講演

下川 宏明 (東北大学 循環器内科学)

座長：永井 良三 (自治医科大学)

5. 特別講演(アルファベット順)

(1) Dominick J. Angiolillo (University of Florida-Jacksonville, USA)

座長：堀 正二 (大阪府立成人病センター)

(2) Mark A. Creager (Geisel School of Medicine at Dartmouth, USA)

座長：水野 杏一 (三越厚生事業団)

(3) Alan Daugherty (University of Kentucky, USA)

座長：横山 光宏 (兵庫県立姫路循環器病センター/神戸大学)

(4) Valentin Fuster (Mount Sinai Hospital, USA)

座長：松崎 益徳 (聖比留会セントヒル病院/山口大学)

(5) Peter Ganz (University of California, San Francisco, USA)

座長：小川 聡 (国際医療福祉大学 三田病院)

(6) Barry Greenberg (University of California, San Diego, USA)

座長：白土 邦男 (社団仁明会 齋藤病院)

(7) Donald D. Heistad (University of Iowa Carver College of Medicine, USA)

座長：島本 和明 (札幌医科大学)

(8) Amir Lerman (Mayo Clinic, USA)

座長：山口 徹 (虎の門病院)

(9) Peter Libby (Brigham and Women's Hospital, USA)

座長：北 徹 (神戸市立医療センター中央市民病院)

(10) Joseph Loscalzo (Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School, USA)

座長：永井 良三 (自治医科大学)

- (11) Thomas F. Lüscher (University Hospital Zurich, Switzerland)
座長：河合 忠一 (医仁会 武田総合病院)
- (12) C. Noel Bairey Merz (Cedars-Sinai Heart Institute, USA)
座長：天野 恵子 (財団法人 野中東皓会 静風荘病院)
- (13) Byung Hee Oh (Seoul National University College of Medicine, Korea)
座長：上松瀬勝男 (冠心会 大崎病院東京ハートセンター)
- (14) Fausto Pinto (University of Lisbon, Portugal)
座長：竹越 襄 (金沢医科大学)
- (15) Junichi Sadoshima (Rutgers, New Jersey Medical School, USA)
座長：友池 仁暢 (榊原記念病院)
- (16) Udo Sechtem (Robert Bosch Krankenhaus, Germany)
座長：細田 瑳一 (日本心臓血圧研究振興会)
- (17) Frank W. Sellke (Brown Med School/Rhode Island Hospital, USA)
座長：北村惣一郎 (国立循環器病研究センター)
- (18) Scott David Solomon (Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School, USA)
座長：鄭 忠和 (和温療法研究所／獨協医科大学)

6. 海外招聘演者 (アルファベット順)

- (1) Alvaro Alonso (University of Minnesota, USA)
- (2) Dominick J. Angiolillo (University of Florida-Jacksonville, USA)
- (3) Euan Ashley (Stanford University, USA)
- (4) Sang Hong Baek (The Catholic University of Korea, Seoul St. Mary's Hospital, Korea)
- (5) Jeroen J. Bax (Leiden University Medical Center, the Netherlands)
- (6) John Beltrame (University of Adelaide, Australia)
- (7) Friedhelm Beyersdorf (Heart Center Freiburg University, Germany)
- (8) Paolo G. Camici (Vita Salute University and Scientific Institute San Raffaele, Italy)
- (9) Thoranis Chantrarat (Phramongkutklao College of Medicine Hospital, Thailand)
- (10) Richard A. Chazal (Lee Memorial Health System, USA)
- (11) Shin-Ann Chen (Taipei Veterans General Hospital, Taiwan)
- (12) Richard Cohen (Boston University School of Medicine, USA)
- (13) Gianluigi Condorelli (University of Milan, Humanitas Clinical and Research Center, Italy)
- (14) Filippo Crea (Catholic University of the Sacred Heart, Italy)
- (15) Mark A. Creager (Geisel School of Medicine at Dartmouth, USA)
- (16) Alan Daugherty (University of Kentucky, USA)
- (17) Pedro J. del Nido (Boston Children's Hospital/Harvard Medical School, USA)
- (18) Geneviève Derumeaux (Hopital Henri Mondor, France)
- (19) Timothy F. Feltes (Nationwide Children's Hospital/The Ohio State University, USA)
- (20) Roberto Ferrari (University of Ferrara, Italy)
- (21) Valentin Fuster (Mount Sinai Hospital, USA)
- (22) Peter Ganz (University of California, San Francisco, USA)
- (23) Tal Geva (Boston Children's Hospital, USA)
- (24) Barry Greenberg (University of California, San Diego, USA)
- (25) Ki Hoon Han (Asan Medical Center (Ulsan University), Korea)
- (26) Donald D. Heistad (University of Iowa Carver College of Medicine, USA)
- (27) Gerhard Hindricks (University of Leipzig, Germany)
- (28) Bruno Hoen (University of Besançon Medical Center, France) (予定)
- (29) Shunichi Homma (Columbia University, USA)
- (30) Timothy J. Kamp (University of Wisconsin, Madison, USA)
- (31) Moti L. Kashyap (University of California, Irvine, USA)
- (32) Juan Carlos Kaski (St. George's University of London, UK)
- (33) Zvonimir S. Katusic (Mayo Clinic, USA)
- (34) Karl B. Kern (University of Arizona College of Medicine – Tucson, USA)

- (35) Nick H. Kim (University California, San Diego, USA)
- (36) Michel Komajda (University Pierre et Marie Curie and Pitie Salpetriere Hospital, France)
- (37) Rudolph Koster (Academic Medical Center Amsterdam, the Netherlands)
- (38) Stamatios Lerakis (Emory Clinic, USA)
- (39) Amir Lerman (Mayo Clinic, USA)
- (40) Peter Libby (Brigham and Women's Hospital, USA)
- (41) MacRae F. Linton (Vanderbilt University Medical Center, USA)
- (42) Joseph Loscalzo (Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School, USA)
- (43) Thomas F. Lüscher (University Hospital Zurich, Switzerland)
- (44) C. Noel Bairey Merz (Cedars-Sinai Heart Institute, USA)
- (45) Virginia Miller (Mayo Clinic, USA)
- (46) Matthias Nahrendorf (Massachusetts General Hospital/Harvard Medical School, USA)
- (47) Byung Hee Oh (Seoul National University College of Medicine, Korea)
- (48) Peter Ong (Robert-Bosch-Krankenhaus, Germany)
- (49) Wenzhi Pan (Zhongshan Hospital of Fudan University, China)
- (50) Fausto Pinto (University of Lisbon, Portugal)
- (51) Kian-Keong Poh (Singapore Cardiac Society, Singapore)
- (52) Junichi Sadoshima (Rutgers, New Jersey Medical School, USA)
- (53) Anwar Santoso (Indonesian Heart Association, Indonesia)
- (54) Udo Sechtem (Robert Bosch Krankenhaus, Germany)
- (55) Frank W. Sellke (Brown Med School/Rhode Island Hospital, USA)
- (56) Caren Solomon (Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School, USA)
- (57) Scott David Solomon (Brigham and Women's Hospital, USA)
- (58) Philippe Gabriel Steg (Hôpital Bichat, Assistance Publique - Hôpitaux de Paris, France)
- (59) Michelle Tallquist (University of Hawaii, USA)
- (60) Paul M. Vanhoutte (University of Hong Kong, Hong Kong)
- (61) Hongbing Yan (FuWai Hospital, China)

7. プレナリーセッション

(1) 20年後の冠動脈疾患治療

[80回記念企画] 〈英語〉

Treatment Paradigm of Coronary Artery Disease: 20 Years From Now!!

座長：木村 剛 (京都大学 循環器内科)

Philippe Gabriel Steg (Hopital Bichat, Assistance Publique - Hopitaux de Paris, France)

演者：羽尾 清貴 (東北大学 循環器内科学)

野口 暉夫 (国立循環器病研究センター)

上田 恭敬 (国立病院機構大阪医療センター)

小山 卓史 (さいたま市立病院 循環器内科)

猪原 拓 (慶應義塾大学 循環器内科)

Philippe Gabriel Steg (Département de Cardiologie Hôpital Bichat, Assistance Publique - Hôpitaux de Paris)

(2) カテーテルアブレーション：現状と近未来の方向性

[80回記念企画] 〈英語〉

Catheter Ablation: The Current Status and the Future Direction

座長：青沼 和隆 (筑波大学 循環器内科)

Gerhard Hindricks (University of Leipzig, Germany)

演者：Gerhard Hindricks (University of Leipzig, Germany)

高橋 良英 (国立病院機構 災害医療センター)

芦原 貴司 (滋賀医科大学 循環器内科)

山下 省吾 (東京慈恵会医科大学 循環器内科)

野上 昭彦 (筑波大学 循環器内科学)

山崎 正俊 (名古屋大学環境医学研究所 心・血管分野)

高月 誠司 (慶應義塾大学 循環器内科)

高見 充 (済生会中津病院 循環器内科)

(3) 20年後を見据えた心不全診療のあり方—基礎・臨床研究からの提言と臨床での実践—

[80回記念企画] 〈英語〉

Creating New Trends for Diagnosis and Treatment of Heart Failure—Integration of Basic Science, Clinical Research and Medical Practice—

座長：北風 政史（国立循環器病研究センター 臨床研究部・心臓血管内科）

Euan Ashley（Stanford University, USA）

演者：Euan Ashley（Stanford University, USA）

Michelle Tallquist（University of Hawaii, USA）

菅野 康夫（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）

石森 直樹（北海道大学 卒後臨床研修センター）

南野 哲男（大阪大学 循環器内科）

家田 真樹（慶應義塾大学 循環器内科）

鈴木 秀明（東北大学 循環器内科学）

(4) 近未来の循環器画像診断

[80回記念企画] 〈英語〉

Future Molecular Imaging of Cardiovascular System in Disease

座長：木原 康樹（広島大学 循環器内科学）

Matthias Nahrendorf（Massachusetts General Hospital/Harvard Medical School, USA）

演者：Matthias Nahrendorf（Massachusetts General Hospital/Harvard Medical School, USA）

内田 康美（循環器学研究振興財団）

浅海 泰栄（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）

北川 知郎（広島大学 循環器内科学）

乾 恵輔（日本医科大学 循環器内科）

高岡 浩之（千葉大学 循環器内科）

(5) 脂質異常症治療の現状と近未来

[80回記念企画] 〈英語〉

Future Direction of Lipid-Modifying Therapy

座長：朔 啓二郎（福岡大学 心臓・血管内科学）

Moti L. Kashyap（University of California, Irvine, USA）

演者：Moti L. Kashyap（University of California, Irvine, USA）

澤野 充明（慶應義塾大学 循環器内科）

三浦伸一郎（福岡大学 心臓・血管内科学）

小倉 正恒（国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部）

辻田 賢一（熊本大学 循環器内科学）

片岡 有（国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科）

(6) 循環器疾患における性差医療—Up to Date—

〈英語〉

Gender-Specific Medicine in Cardiovascular Disease—Up to Date—

座長：瀧原 圭子（大阪大学 保健センター）

C. Noel Bairey Merz（Cedars-Sinai Heart Institute, USA）

演者：C. Noel Bairey Merz（Cedars-Sinai Heart Institute, USA）

中川 幹子（大分大学 循環器内科・臨床検査診断学）

八木原伸江（新潟大学 循環器分野）

倉林 学（横浜市立みなと赤十字病院 循環器内科）

西野 峻（宮崎市郡医師会病院 心臓病センター 循環器内科）

辻 薫菜子（東北大学 循環器内科学）

(7) 弁膜症に対するカテーテル治療の進歩

〈日本語〉

Progress in Transcatheter Approach to Valvular Heart Diseases

座長：山本 一博（鳥取大学 病態情報内科学）

澤 芳樹（大阪大学 心臓血管外科学）

演者：鳥飼 慶（大阪大学 心臓血管外科）
村田 誠（群馬県立心臓血管センター 循環器内科）
柴山謙太郎（東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科）
大野 洋平（東海大学 循環器内科学）
板橋 裕史（慶應義塾大学 循環器内科）

(8) 肺高血圧診療における進歩と未来 [80回記念企画] 〈英語〉

Progress and Future in Pulmonary Hypertension Clinic

座長：伊藤 浩（岡山大学 循環器内科）
Nick H. Kim（University California, San Diego, USA）
演者：Nick H. Kim（University California, San Diego, USA）
田村 雄一（パリ大学 国立肺高血圧症センター）
阿部弘太郎（九州大学 循環器病未来医療研究センター 先端循環制御学部門）
佐藤 公雄（東北大学 循環器内科学）
小川 愛子（国立病院機構 岡山医療センター 臨床研究部）
高谷 陽一（岡山大学 循環器内科）

(9) 院外心停止：新たな知見とコントロールシー 〈英語〉

Out-of-Hospital Cardiac Arrest, New Insights and Current Controversies

座長：安田 聡（国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門）
Karl B. Kern（University of Arizona College of Medicine – Tucson, USA）
演者：Karl B. Kern（University of Arizona College of Medicine – Tucson, USA）
Rudolph Koster（Academic Medical Center Amsterdam, the Netherlands）
舟田 晃（金沢大学 救急部）
小松 真恭（東北大学 循環器内科学）
中島 啓裕（国立循環器病研究センター）
西山 慶（国立病院機構 京都医療センター 救命救急センター）

(10) 東日本大震災復興5周年—我々は何を学び、今後、何をなすべきか？— 〈日本語〉

The Great East Japan Earthquake: What We Learned in the Past 5 Years and Future Perspectives

座長：下川 宏明（東北大学 循環器内科学）
竹石 恭知（福島県立医科大学 循環器・血液内科学）
演者：青木 竜男（東北大学 循環器内科学）
中村 元行（岩手医科大学 内科学・心血管腎内分泌内科）
義久 精臣（福島県立医科大学 循環器・血液内科学）
宗像 正徳（東北労災病院 生活習慣病研究センター）
榛沢 和彦（新潟大学 呼吸循環器外科）
安田 聡（国立循環器病研究センター）

(11) 循環器病学の近未来を語ろう [80回記念企画] 〈日本語〉

Let's Discuss the Near Future of Cardiovascular Medicine

座長：伊藤 浩（岡山大学 循環器内科）
横山 斉（福島県立医科大学 心臓血管外科学）
演者：後藤 信哉（東海大学 循環器内科学）
伊藤 健太（東北大学 循環器内科学）
佐野 元昭（慶應義塾大学 循環器内科）
山下 潤（京都大学 iPS 細胞研究所 幹細胞分化制御学）
宮川 繁（大阪大学 心臓血管外科）

8. シンポジウム

(1) 生体吸収型ステントの現状と可能性

〈日本語〉

Bioresorbable Scaffolds (BRS) in Current and Future

- 座長：尾崎 行男（藤田保健衛生大学 循環器内科）
 上野 高史（久留米大学 循環器病センター）
 演者：木村 剛（京都大学 循環器内科）
 大塚 文之（国立循環器病研究センター バイオバンク・心臓血管内科）
 西宮 健介（東北大学 循環器内科学）
 仲吉 孝晴（久留米大学 心臓・血管内科）
 挽地 裕（佐賀大学 循環器内科学）
 加治屋 崇（社会医療法人天陽会中央病院 循環器内科）
 石橋 祐記（聖マリアンナ医科大学 循環器内科）
 井守 洋一（チューリッヒ大学 循環器内科）

(2) メタボリックシンドロームによる動脈硬化のメカニズムはどこまで解明されたか

〈英語〉

Mechanisms of Atherosclerosis in Metabolic Syndrome: From Bench to Bedside

- 座長：倉林 正彦（群馬大学 臓器病態内科学）
 MacRae F. Linton（Vanderbilt University Medical Center, USA）
 演者：MacRae F. Linton（Vanderbilt University Medical Center, USA）
 大石由美子（東京医科歯科大学難治疾患研究所 細胞分子医学）
 磯 達也（群馬大学 臓器病態内科学）
 福田 大受（徳島大学 循環器内科学）
 野田 一樹（東北大学 循環器内科）
 野原 淳（金沢大学 先進的地域医療研究講座）

(3) Polyvascular Disease としての動脈硬化の診断と治療の進歩

〈日本語〉

Recent Progress in Diagnosis and Treatment of Atherosclerosis as a Polyvascular Disease

- 座長：平田 健一（神戸大学 循環器内科学）
 佐田 政隆（徳島大学 循環器内科学）
 演者：小田代敬太（九州大学病院 ハートセンター）
 野口 暉夫（国立循環器病研究センター）
 高橋 覚（尼崎中央病院 心臓血管センター）
 八木 秀介（徳島大学 循環器内科）
 椎名 一紀（東京医科大学 循環器内科）
 高木 元（日本医科大学 循環器内科）

(4) 新規デバイスによる不整脈の診断と治療の進歩

〈日本語〉

Diagnosis and Treatment Using Recently Developed and Emerging Devices

- 座長：埴田 浩（福井大学 循環器内科学）
 萩原 誠久（東京女子医科大学 循環器内科）
 演者：野田 崇（国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門）
 千葉 貴彦（東北大学 循環器内科学）
 庄田 守男（東京女子医科大学 循環器内科学）
 佐々木真吾（弘前大学 不整脈先進治療学）
 近藤 祐介（千葉大学 循環器内科学）
 前田 真吾（東京医科歯科大学 不整脈センター）

(5) コホート研究・臨床試験から見てきた HFpEF の課題

〈日本語〉

Unsolved Issues in Heart Failure with Preserved Ejection Fraction (HFpEF) Based on Cohort Studies and Clinical Trials

- 座長：筒井 裕之（北海道大学 循環病態内科学）
 斎藤 能彦（奈良県立医科大学 第一内科）

演者：安齊 俊久（国立循環器病研究センター）
三浦 正暢（東北大学 循環器内科学）
志賀 剛（東京女子医科大学 循環器内科）
武井 眞（慶應義塾大学医学部 循環器内科）
平田 快紘（熊本大学 循環器内科学）
南澤 匡俊（信州大学 循環器内科学）

（6） 未来に向かう高血圧診療の潮流

〈日本語〉

New Trend in Hypertensive Treatment

座長：長谷部直幸（旭川医科大学 循環・呼吸・神経病態内科学）
森下 竜一（大阪大学 臨床遺伝子治療学）
演者：山本英一郎（熊本大学 循環器内科学）
佐田 悠輔（Baker IDI Heart and Diabetes Institute Neurovascular Hypertension & Kidney Disease）
岸 拓弥（九州大学循環器病未来医療研究センター 未来心血管治療学共同研究部門）
中神 啓徳（大阪大学 健康発達医学）
渡邊 直樹（名古屋大学 循環器内科学）
米田 隆（金沢大学 未来医療研究人材養成拠点形成事業プログラマナージメント室）

（7） 20年後の再生医療を予測する

〔80回記念企画〕〈日本語〉

Twenty Years Future Perspectives of Cardiovascular Regenerative Medicine

座長：福田 恵一（慶應義塾大学 循環器内科）
室原 豊明（名古屋大学循環器内科）
演者：福田 恵一（慶應義塾大学 循環器内科）
柴 祐司（信州大学 バイオメディカル研究所）
福嶋 五月（大阪大学 心臓血管外科）
柴田 玲（名古屋大学 先端循環器治療学）
太良 修平（日本医科大学 循環器内科学）

（8） 疾患 iPS 細胞から創薬へ

〈英語〉

Development of Novel Drugs from Patient-Derived iPS Cells

座長：小室 一成（東京大学 循環器内科学）
Timothy J. Kamp（University of Wisconsin, Madison, USA）
演者：Timothy J. Kamp（University of Wisconsin, Madison, USA）
Gianluigi Condorelli（University of Milan, Humanitas Clinical and Research Center, Italy）
内藤 篤彦（東京大学 肺高血圧先進医療研究学）
湯浅 慎介（慶應義塾大学 循環器内科）
斎藤 幸弘（岡山大学 循環器内科学）

（9） 新しいデバイス治療を支える画像診断

〈日本語〉

Imaging Modality Supporting New Device Therapy

座長：陣崎 雅弘（慶應義塾大学 放射線診断科）
増山 理（兵庫医科大学 循環器内科）
演者：小出 祐嗣（岡山大学 循環器内科学）
山野 倫代（京都府立医科大学 循環器内科）
前田 孝一（大阪大学 心臓血管外科）
横山 拓（九州大学病院 ハートセンター第一内科）
久保 俊介（シーダースサイナイメディカルセンター ハートインスティテュート）

- (10) 二次予防コホートによる介入の効果比較研究 〈日本語〉
New Strategy for the Secondary Prevention after Acute Coronary Syndrome Based on Cohort Studies
座長：平山 篤志（日本大学 循環器内科）
小川 久雄（国立循環器病研究センター）
演者：野口 暉夫（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）
高山 忠輝（日本大学 循環器内科学分野）
及川 卓也（東北大学 循環器内科学）
掃本 誠治（熊本大学 循環器内科学）
香坂 俊（慶應義塾大学）
- (11) 2025年を見据えた循環器領域の医療と介護の連携 〈日本語〉
Collaboration in Medical Care and Nursing in Cardiovascular Field, Focusing on Year 2025
座長：永井 良三（自治医科大学）
楠岡 英雄（国立病院機構 大阪医療センター）
演者：渡辺 徳（長野県厚生連北信総合病院 循環器内科）
琴岡 憲彦（佐賀大学 循環器内科・心不全治療学）
植田晋一郎（久留米大学 心臓・血管内科）
中根 英策（田附興風会医学研究所北野病院 心臓センター）
- (12) 成人先天性心疾患をどのように評価し治療するか—基礎から最先端まで 〈日本語〉
How Should We Evaluate and Manage Adult Congenital Heart Disease?—From Basic to Cutting-Edge Issues
座長：白石 公（国立循環器病研究センター 小児循環器部）
赤阪 隆史（和歌山県立医科大学 循環器内科）
演者：赤木 禎治（岡山大学 成人先天性心疾患センター）
原 英彦（東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科）
椎名 由美（聖路加国際病院 心血管センター 循環器内科）
上野 高義（大阪大学 先進心血管治療学）
大内 秀雄（国立循環器病研究センター 成人先天性心疾患）
- (13) 成人先天性心疾患における画像診断の進歩 〈英語〉
Advances in Image Diagnosis for Adult Congenital Heart Diseases
座長：石井 正浩（北里大学 小児科）
Tal Geva（Boston Children's Hospital, USA）
演者：Tal Geva（Boston Children's Hospital, USA）
椎名 由美（聖路加国際医療病院 心血管センター 循環器内科／心臓血管外科）
先崎 秀明（埼玉医科大学 総合医療センター 小児循環器科）
北川 篤史（北里大学 小児科）
船橋 伸禎（千葉大学 循環器内科）
- (14) CTEPH 診療の最前線 〈日本語〉
Frontline of CTEPH Practice in Japan in 2016
座長：伊藤 正明（三重大学 循環器・腎臓内科学）
佐藤 徹（杏林大学 循環器内科）
演者：矢尾板信裕（東北大学 循環器内科）
大郷 恵子（国立循環器病研究センター 臨床検査部 臨床病理科）
池田 長生（国立国際医療研究センター 循環器内科）
中西 直彦（京都府立医科大学 循環器内科学）
細川 和也（九州大学 循環器内科学）
石田 敬一（千葉大学 心臓血管外科）

(15) 重症虚血肢治療戦略の up-to-date 〈日本語〉

An Update on Therapeutic Strategies for Japanese Patients with Critical Limb Ischemia

座長：東 信良（旭川医科大学 血管外科学）
中村 正人（東邦大学医療センター 大橋病院循環器内科）
演者：中野 雅嗣（健貢会総合東京病院 循環器内科）
毛利 晋輔（済生会横浜市東部病院 循環器内科）
仲間 達也（宮崎市郡医師会病院 心臓病センター 循環器内科）
久良木亮一（国立病院機構九州医療センター 血管外科）
斯波真理子（国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部）
川本 篤彦（先端医療センター病院 再生治療ユニット）
土田 博光（誠潤会水戸病院 心臓血管外科）

(16) 循環器疾患予防に向けた糖尿病治療 〈日本語〉

Treatment of Diabetes Mellitus to Prevent Cardiovascular Disease

座長：代田 浩之（順天堂大学 循環器内科学）
湊口 信也（岐阜大学 循環器内科）
演者：赤坂 朋紀（熊本大学 循環器内科）
中尾 一泰（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）
田原 宣広（久留米大学 心臓・血管内科）
岩佐 将充（岐阜大学 再生医科学循環・呼吸病態学）
手嶋 泰之（大分大学 循環器内科・臨床検査診断学）
松井 弘樹（群馬大学 保健学科）
清水 逸平（新潟大学 循環器内科学 先進老化制御学）

(17) 大動脈瘤治療の可能性を探る 〈日本語〉

Exploration of a Possibility of Better Strategy for Treating Aortic Pathologies

座長：志水 秀行（慶應義塾大学 心臓血管外科）
古森 公浩（名古屋大学 血管外科）
演者：青木 浩樹（久留米大学 循環器病研究所）
吉村 耕一（山口大学 器官病態外科学）
横山 詩子（横浜市立大学 循環制御医学）
市来 俊弘（原三信病院 循環器科）
湊谷 謙司（国立循環器病研究センター 心臓血管外科）
檜山 耕平（市立函館病院 心臓血管外科）
島村 和男（大阪大学 心臓血管外科）

(18) 心肺蘇生ガイドライン2015を活かす 〈日本語〉

Optimal Use of the 2015 Guidelines for Cardiopulmonary Resuscitation (CPR) and Emergency Cardiovascular Care (ECC)

座長：木村 一雄（横浜市立大学附属 市民総合医療センター 心臓血管センター）
野々木 宏（静岡県立総合病院）
演者：坂本 哲也（帝京大学 救急医学）
船崎 俊一（埼玉県済生会川口総合病院 循環器内科）
田原 良雄（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）
石見 拓（京都大学 環境安全保健機構附属健康科学センター）

(19) 心筋症の基礎と臨床：新しい視点からの展開 〈日本語〉

Basic and Clinical Aspects in Cardiomyopathies: New Viewpoints and Future Direction

座長：磯部 光章（東京医科歯科大学 循環制御内科学）
山岸 正和（金沢大学 臓器機能制御学・循環器内科）

演者：伊藤 薫（ハーバード大学 遺伝学部門）
 大木元明義（愛媛大学 循環器・呼吸器・腎高血圧内科）
 大野 聖子（滋賀医科大学 アジア疫学研究センター）
 寺本 了太（金沢大学 臓器機能制御学 循環器内科）
 手塚 大介（東京医科歯科大学 循環器内科）
 齋藤 恒徳（日本医科大学 循環器内科）

- (20) 最新ゲノム医学から探る心血管システムの分子基盤～発生から病態まで～ 〈日本語〉
 Emerging Trends in Advanced Genomic Medicine to Elucidate the Molecular Basis of the Cardiovascular System: From Development to Disease

座長：南野 徹（新潟大学 循環器内科）
 尾池 雄一（熊本大学 分子遺伝学）
 演者：尾池 雄一（熊本大学 分子遺伝学）
 渡部 裕（新潟大学 循環器分野）
 渡辺 智彦（国立循環器病研究センター 分子生物学部）
 尾崎 浩一（理化学研究所 統合生命医科学研究センター 循環器疾患研究グループ）
 真鍋 一郎（千葉大学 長寿医学）
 山下 智也（神戸大学 循環器内科学）

- (21) 世界スタンダードとなりうる日本型臨床研究のあり方を模索する 〈日本語〉
 How Should We Design and Conduct Sensible Clinical Research in Japan?

座長：植田真一郎（琉球大学 臨床薬理学）
 野出 孝一（佐賀大学 循環器内科）
 演者：植田真一郎（琉球大学 臨床薬理学）
 坂田 泰彦（東北大学 循環器内科学）
 肥後修一朗（大阪大学 循環器内科学）
 吉川 泰司（大阪大学 重症心不全外科治療学寄附講座）

- (22) 循環器診療におけるハートチームの役割 〈日本語〉
 The Role of Heart Team Approach for Patients with CVD; Prevention to Rehabilitation

座長：山科 章（東京医科大学 循環器内科）
 吉田 俊子（宮城大学 看護学部）
 演者：鈴木 誠（亀田総合病院 循環器内科）
 梶川アユミ（東北大学 看護部）
 奥村 貴裕（名古屋大学 循環器内科学）
 加藤 祐子（心臓血管研究所病院 循環器内科）
 荒川 鉄雄（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）

- (23) 医療研究・開発の環境整備と循環器診療—国際化時代の医療イノベーション— 〈日本語〉
 The Future of Medical Research & Development for Cardiovascular Care—Global Harmonization to Establish an Ecosystem for Medical Innovation—

座長：池野 文昭（スタンフォード大学）
 澤 芳樹（大阪大学 心臓血管外科学）
 演者：渡邊 裕司（浜松医科大学 臨床薬理学）
 中川 敦寛（東北大学 臨床研究推進センター）
 筒井 裕之（北海道大学 循環病態内科学）
 内田 毅彦（東京女子医科大学 循環器内科学）

- (24) 心疾患を有する妊婦への対応 〈日本語〉
 Management of Pregnant Women with Cardiac Disease

座長：池田 智明（三重大学 産婦人科）
 市田 露子（富山大学 小児科）

演者：植田 初江（国立循環器病研究センター 病理部）
赤木 禎治（岡山大学 成人先天性心疾患センター）
城戸佐知子（兵庫県立こども病院 循環器科）
桂木 真司（榊原記念病院 産婦人科）
神谷千津子（国立循環器病研究センター 周産期・婦人科部）

(25) 補助人工心臓を日本の循環器医療にどう活かすか 〈日本語〉

How Do We Establish Usefulness of Left Ventricular Assist Device in Japan?

座長：小野 稔（東京大学 心臓血管外科）
坂田 泰史（大阪大学 循環器内科学）
演者：絹川弘一郎（富山大学 第二内科）
鈴木 敦（東京女子医科大学 循環器内科学）
秋山 正年（東北大学 心臓血管外科）
田ノ上禎久（九州大学 心臓血管外科）
瀬口 理（国立循環器病研究センター 移植医療部）
戸田 宏一（大阪大学 心臓血管外科）

(26) 抗血栓療法新時代 〈日本語〉

New Era of Antithrombotic Therapy

座長：宮崎 俊一（近畿大学 循環器内科）
奥村 謙（弘前大学 循環呼吸腎臓内科学）
演者：井上 雅博（大田記念病院 循環器内科）
富田 泰史（弘前大学 循環器腎臓内科学）
中村 紘規（群馬県立心臓血管センター 循環器内科）
山本 剛（日本医科大学 心臓血管集中治療科）
豊田 俊彬（京都大学 循環器内科）
小林 範弘（済生会横浜市東部病院）
上野 雅史（近畿大学 循環器内科）
市堀 泰裕（大阪大学 循環器内科学）

(27) 冠動脈疾患における冠動脈機能異常の重要性 〈日本語〉

Functional Impairment of Coronary Arteries; Clinical Implications and Further Evaluation

座長：安田 聡（国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門）
高橋 潤（東北大学 循環器内科学）
演者：石井 正将（熊本大学 循環器病態学）
圓谷 隆治（東北大学 循環器内科学）
高野 仁司（日本医科大学 循環器内科）
嵐 弘之（東京女子医科大学 循環器内科）
大西 隆行（平塚共済病院 循環器科）
野口 暉夫（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）

(28) 睡眠呼吸障害診療の最前線 〈日本語〉

Front Line of Sleep Disordered Breathing Management

座長：伊藤 宏（秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学）
百村 伸一（自治医科大学さいたま医療センター 循環器科）
演者：清野 精彦（日本医科大学千葉北総病院 循環器センター）
楠瀬 賢也（徳島大学病院 循環器内科）
成瀬代士久（ライデン大学 循環器内科）
山口 済（東京医科大学 循環器内科）
義久 精臣（福島県立医科大学 循環器・血液内科学／心臓病先進治療学）
葛西 隆敏（順天堂大学 循環器内科・心血管睡眠呼吸医学）

9. 会長特別企画

- (1) 日本循環器学会80年の歩み—先達からのメッセージ— 〈日本語〉
 座長：小川 久雄 (国立循環器病研究センター)
 山口 徹 (虎の門病院)
 演者：日野原重明 (聖路加国際病院)
 篠山 重威 (宇治病院)
 永井 良三 (自治医科大学)
- (2) 日本が誇る循環器研究Ⅰ「久山町研究」「冠動脈攣縮」「Na 利尿ペプチド」 〈日本語〉
 座長：荒川規矩男 (福岡大学)
 演者：尾前 照雄 (久山町ヘルス C&C センター／国立循環器病研究センター)
 泰江 弘文 (熊本加齢医学研究所／熊本機能病院 循環器内科)
 寒川 賢治 (国立循環器病研究センター研究所)
- (3) 日本が誇る循環器研究Ⅱ「川崎病」「高安病(大動脈炎症候群)」「たこつぼ心筋症」 〈日本語〉
 座長：藤原 久義 (兵庫県立尼崎総合医療センター)
 演者：濱岡 建城 (京都府立医科大学 小児循環器・腎臓学)
 磯部 光章 (東京医科歯科大学 循環制御内科学)
 石原 正治 (兵庫医科大学 内科学冠疾患科)
- (4) Editors-in-Chief of the Top Medical Journals 〈英語〉
 座長：下川 宏明 (東北大学 循環器内科学)
 Thomas F. Lüscher (University Hospital Zurich, Switzerland)
 演者：下川 宏明 (東北大学 循環器内科学) (Circ J)
 Caren Solomon (Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School, USA) (NEJM)
 Valentin Fuster (Mount Sinai Hospital, USA) (JACC)
 Thomas F. Lüscher (University Hospital Zurich, Switzerland) (EHJ)
 Joseph Loscalzo (Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School, USA) (Circulation)
 Alan Daugherty (University of Kentucky, USA) (ATVB)
- (5) The Year in Cardiology—the EHJ Perspective 〈英語〉
 座長：下川 宏明 (東北大学 循環器内科学)
 Thomas F. Lüscher (University Hospital Zurich, Switzerland)
 演者：Roberto Ferrari (University of Ferrara, Italy)
 Udo Sechtem (Robert Bosch Krankenhaus, Germany)
 Filippo Crea (Catholic University of the Sacred Heart, Italy)
 Barry Greenberg (University of California, San Diego, USA)
- (6) Importance of Coronary Microvascular Dysfunction in Cardiovascular Medicine 〈英語〉
 座長：C. Noel Bairey Merz (Cedars-Sinai Heart Institute, USA)
 Paolo G. Camici (Vita Salute University and Scientific Institute San Raffaele, Italy)
 演者：Juan Carlos Kaski (St. George's University of London, UK)
 Filippo Crea (Catholic University of the Sacred Heart, Italy)
 Virginia Miller (Mayo Clinic, USA)
 Udo Sechtem (Robert Bosch Krankenhaus, Germany)
 Amir Lerman (Mayo Clinic, USA)
 John Beltrame (University of Adelaide, Australia)
- (7) 30th Anniversary of NO Research: What Have We Learned and Where to Go 〈英語〉
 座長：平田 健一 (神戸大学 循環器内科学)
 Zvonimir S. Katusic (Mayo Clinic, USA)
 演者：Paul M. Vanhoutte (University of Hong Kong, Hong Kong)
 Richard Cohen (Boston University School of Medicine, USA)
 筒井 正人 (琉球大学 薬理学)
 Thomas F. Lüscher (University Hospital Zurich, Switzerland)
 Virginia Miller (Mayo Clinic, USA)

- (8) 循環器疾患に対する低侵襲性治療の開発 〈日本語〉
座長：鄭 忠和 (和温療法研究所／獨協医科大学)
伊藤 健太 (東北大学 循環器先端医療開発学)
演者：鄭 忠和 (和温療法研究所／獨協医科大学)
松原 隆夫 (石川県立中央病院 循環器内科)
伊藤 健太 (東北大学 循環器先端医療開発学)
許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センター)
佐野 元昭 (慶應義塾大学 循環器内科)
- (9) 心不全パンデミックへの対応 〈英語〉
座長：筒井 裕之 (北海道大学 循環病態内科学)
坂田 泰彦 (東北大学 循環器内科学)
演者：Sang Hong Baek (The Catholic University of Korea, Seoul St. Mary's Hospital, Korea)
大倉 裕二 (新潟県立がんセンター)
三浦 正暢 (東北大学 循環器 EBM 開発学寄附講座)
佐藤 直樹 (日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科・集中治療室)
絹川真太郎 (北海道大学 循環病態内科学)
- (10) 循環器疾患における新規治療標的 〈日本語〉
座長：矢野 雅文 (山口大学 器官病態内科学)
南野 徹 (新潟大学 循環器内科)
演者：佐藤 公雄 (東北大学 循環器内科学)
吉田 陽子 (新潟大学 先進老化制御学)
真鍋 一郎 (東京大学 循環器内科)
山本 健 (山口大学 器官病態内科学)
湯浅 慎介 (慶應義塾大学 循環器内科)
- (11) 大規模災害と心血管病 〈日本語〉
座長：平田 健一 (神戸大学 循環器内科学)
荻尾 七臣 (自治医科大学 循環器内科学)
演者：杜 隆嗣 (神戸大学 立証検査医学)
青木 竜男 (東北大学 循環器内科学)
竹石 恭知 (福島県立医科大学 循環器・血液内科学)
荻尾 七臣 (自治医科大学 循環器内科学)
安田 聡 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)
- (12) IT が拓く近未来の循環器医療 〈日本語〉
座長：藤田 英雄 (自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器科)
中山 雅晴 (東北大学災害科学国際研究所 災害医療情報学)
演者：竹花 一哉 (関西医科大学 内科学第二講座)
興梠 貴英 (自治医科大学 医療情報部)
横田 卓 (北海道大学 循環病態内科学)
藤生 克仁 (東京大学 健康空間情報学)
伊藤 健太 (東北大学 循環器先端医療開発学)
藤田 英雄 (自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器科)
- (13) 重要性を増す Cardio-Oncology 〈日本語〉
座長：福本 義弘 (久留米大学 心臓・血管内科)
野原 隆司 (枚方公済病院)
演者：石岡千加史 (東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学)
向井 幹夫 (大阪府立成人病センター 循環器内科)
池田 正孝 (大阪医療センター 外科)
杉村宏一郎 (東北大学 循環器内科学)
佐瀬 一洋 (順天堂大学 臨床薬理学)
- (14) 我が国の医療機器開発の現状と課題 〈日本語〉
座長：池田 浩治 (東北大学病院臨床研究推進センター)
北島 政樹 (国際医療福祉大学)

演者：三宅 邦明（厚生労働省医政局経済課医療機器政策室）
 富永 悌二（東北大学病院臨床研究推進センター）
 池野 文昭（スタンフォード大学）
 進藤 智彦（東北大学 循環器内科学）
 三澤 裕（テルモ株式会社）
 鈴木 由香（医薬品医療機器総合機構）

(15) 日米の医学教育を考える 〈日本語〉

座長：Shunichi Homma (Columbia University, USA)
 福井 次矢（聖路加国際病院）

演者：Shunichi Homma (Columbia University, USA)
 加賀谷 豊（東北大学 医学教育推進センター）
 赤池 雅史（徳島大学 医療教育学）
 長谷川仁志（秋田大学 医学教育学）

(16)～(18) 3日でマスターする医学統計入門①②③ 〈日本語〉

座長：坂田 泰彦（東北大学 循環器内科学）
 演者：宮田 敏（東北大学 循環器 EBM 開発学寄附講座）

10. ジョイントシンポジウム

(1) ESC-JCS Joint Symposium

Coronary Microvascular Dysfunction Revisited

座長：安田 聡（国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門）
 Filippo Crea (Catholic University of the Sacred Heart, Italy)
 演者：Filippo Crea (Catholic University of the Sacred Heart, Italy)
 Juan Carlos Kaski (St. George's University of London, UK)
 Paolo G. Camici (Vita-Salute University and Scientific Institute San Raffaele, Italy)
 海北 幸一（熊本大学 循環器内科学）
 高橋 潤（東北大学 循環器内科学）

(2) Meet the ESC in Japan - Session 1: Recent Advances in the Management of Infective Endocarditis

国内座長：山本 一博（鳥取大学 病態情報内科学）
 国内演者：中谷 敏（大阪大学 機能診断科学）
 横山 斉（福島県立医科大学 心臓血管外科学）

(3) Meet the ESC in Japan - Session 2: Prevention of Sudden Death: A Clinical Case-based Symposium to Discuss ESC and JCS Guidelines

国内座長：奥村 謙（弘前大学 循環器腎臓内科）
 国内演者：青沼 和隆（筑波大学 循環器内科）
 堀江 稔（滋賀医科大学 呼吸循環器内科）

(4) AHA-JCS Joint Symposium

Functional Importance of Immune Cells in the Heart

座長：福田 恵一（慶應義塾大学 循環器内科）
 Mark A. Creager (Geisel School of Medicine at Dartmouth, USA)
 演者：Peter Libby (Brigham and Womens Hospital, USA)
 Joseph Loscalzo (Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School, USA)
 佐野 元昭（慶應義塾大学 循環器内科）
 遠藤 仁（慶應義塾大学 循環器内科）
 尾野 亘（京都大学 循環器内科）

(5) ACC-JCS Joint Symposium

Progress in the Treatment of Structural Heart Diseases

座長：中谷 敏（大阪大学 機能診断科学）
 Richard A. Chazal (Lee Memorial Health System, USA)

演者：有田 武史（九州大学 第一内科）
林田健太郎（慶應義塾大学 循環器内科）
Stamatios Lerakis（Emory Clinic, USA）
Shunichi Homma（Columbia University, USA）

(6) CSC-JCS Joint Symposium

Current Status of Interventional Cardiology in China and Japan

座長：室原 豊明（名古屋大学 循環器内科）
Hongbing Yan（Fuwai Hospital, China）

演者：Hongbing Yan（Fuwai Hospital, China）
上野 高史（久留米大学 循環器病センター）
Wenzhi Pan（Zhongshan Hospital of Fudan University, China）
林田健太郎（慶應義塾大学 循環器内科）

(7) Asian Session

Current Lipid Control for Vascular Protection in Asia

座長：野出 孝一（佐賀大学 循環器内科）
Ki Hoon Han（Asan Medical Center (Ulsan University), Korea）
演者：池脇 克則（防衛医科大学校 抗加齢血管内科）
Kian-Keong Poh（Singapore Cardiac Society, Singapore）
Thorani Chantrarat（Phramongkutklao College of Medicine Hospital, Thailand）
Anwar Santoso（Indonesian Heart Association, Indonesia）
Ki Hoon Han（Asan Medical Center (Ulsan University), Korea）

11. ラウンドテーブルディスカッション

(1) 内科医がCABG外科医に求めるもの、CABG外科医が内科医に求めるもの

座長：中村 正人（東邦大学医療センター 大橋病院 循環器内科）
浅井 徹（滋賀医科大学 心臓血管外科）
演者：伊刈 裕二（東海大学 循環器内科）（予定）
中尾 浩一（済生会熊本病院 心臓血管センター循環器内科）
高梨秀一郎（榊原記念病院 心臓血管外科）
夜久 均（京都府立医科大学 心臓血管外科）（予定）

(2) 心房細動に対するアブレーション治療の今後の展望

座長：山根 禎一（東京慈恵会医科大学 循環器内科）
高橋 淳（横須賀共済病院 循環器センター）
演者：桑原 大志（横須賀共済病院 循環器センター）
新田 順一（さいたま赤十字病院 循環器科）
高橋 良英（災害医療センター 循環器内科）
山下 省吾（東京慈恵会医科大学 循環器内科）

(3) 新 NOAC 時代の循環器診療

座長：池田 隆徳（東邦大学 循環器内科学）
山下 武志（心臓血管研究所）
演者：鈴木 信也（心臓血管研究所病院 循環器内科）
上妻 謙（帝京大学 循環器内科）
山本 剛（日本医科大学 心臓血管集中治療科）
天野 英夫（東邦大学 循環器内科学）

(4) 超高齢社会における心不全診療のあり方

座長：柴 信行（国際医療福祉大学病院）
猪又 孝元（北里大学 循環器内科学）
演者：坂田 泰彦（東北大学 循環器内科学）
安村 良男（大阪警察病院 循環器内科）
絹川弘一郎（富山大学 第二内科）
弓野 大（ゆみのハートクリニック）

(5) 両心室ペーシング治療の適応を考える

座長：茅田 浩 (福井大学 循環器内科学)
 草野 研吾 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 演者：野田 崇 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 瀬尾 由広 (筑波大学 循環器内科)
 慶田 毅彦 (江戸川病院 循環器内科)
 安藤 献児 (平成柴川会小倉記念病院 循環器内科)

(6) 重症心不全に対する診療の進歩

座長：絹川弘一郎 (富山大学 第二内科)
 坂田 泰史 (大阪大学 循環器内科学)
 演者：今村 輝彦 (東京大学 重症心不全治療開発講座)
 相庭 武司 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 林田健太郎 (慶応大学 循環器内科)
 大谷 朋仁 (大阪大学 循環器内科学)

(7) 医療経済・健康寿命からみた循環器疾患

座長：檜垣 実男 (愛媛大学 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)
 山崎 力 (東京大学医学部附属病院 臨床研究支援センター)
 演者：寶澤 篤 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門)

(予定)

三浦 克之 (滋賀医科大学 公衆衛生学)
 橋本 英樹 (東京大学 公共健康医学)
 池田 俊也 (国際医療福祉大学 医療経営管理分野)

(8) 成人先天性心疾患治療体系の構築に向けて：小児科医から循環器内科医へのスムーズな移行

座長：益田 宗孝 (横浜市立大学 外科治療学)
 村上 新 (金沢西病院)
 演者：立野 滋 (千葉県循環器病センター 成人先天性心疾患診療部)
 坂本 一郎 (九州大学 循環器内科)
 落合 亮太 (横浜市立大学 看護学科)
 丹羽公一郎 (聖路加国際病院 心血管センター循環器内科)

(9) わが国における ICD 一次予防

座長：栗田 隆志 (近畿大学 心臓血管センター)
 清水 昭彦 (山口大学 保健学科)
 演者：福田 浩二 (東北大学 循環器内科学)
 安藤 献児 (平成柴川会小倉記念病院 循環器内科)
 野田 崇 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 三橋 武司 (自治医科大学さいたま医療センター)

(10) 循環器疾患における終末期医療を考える

座長：野々木 宏 (静岡県立総合病院)
 琴岡 憲彦 (佐賀大学 循環器内科・心不全治療学)
 演者：野々木 宏 (静岡県立総合病院)
 大石 醒悟 (兵庫県立姫路循環器病センター)
 弓野 大 (ゆみのハートクリニック)
 箕岡 真子 (東京大学 医療倫理学／箕岡医院)

(11) 超高齢社会における心臓リハビリテーションの役割

座長：後藤 葉一 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科／循環器病リハビリテーション部)
 池田 久雄 (帝京大学 福岡医療技術学部)
 演者：荒井 秀典 (国立長寿医療研究センター)
 高橋 哲也 (東京工科大学 理学療法学科)
 後藤 葉一 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科／循環器病リハビリテーション部)
 和泉 徹 (恒仁会新潟病院) (予定)

12. トピック

(1) 冠動脈外膜

座長：佐田 政隆（徳島大学 循環器内科学）
田中 篤（和歌山県立医科大学 循環器内科）
演者：田中 君枝（東京大学 保健・健康推進本部）
鶴田 敏博（宮崎大学 循環体液制御学）
川辺 淳一（旭川医科大学 心血管再生先端医療開発講座）
樽谷 玲（和歌山県立医科大学 循環器内科）
西宮 健介（東北大学 循環器内科学）

(2) 右心不全

座長：中村 一文（岡山大学 循環器内科）
佐藤 徹（杏林大学 循環器内科）
演者：中村 一文（岡山大学 循環器内科）
建部 俊介（東北大学 循環器内科学）
更科 俊洋（岡山大学 循環器内科）
瀬尾 由広（筑波大学 循環器内科）
河村 朗夫（防衛医科大学校 循環器内科）
波多野 将（東京大学 循環器内科）
佐藤 徹（杏林大学 循環器内科）

(3) 再生医療の循環器疾患への応用

座長：池田 宇一（信州大学 循環器内科）
久留 一郎（鳥取大学 遺伝子再生医療学）
演者：門田 真（ワシントン大学）
遠山 周吾（慶応義塾大学 循環器内科）
白吉 安昭（鳥取大学 再生医療学）
王 英正（岡山大学 新医療研究開発センター再生医療部）
柴 祐司（信州大学 バイオメディカル研究所／循環器内科）

(4) 分子イメージングの臨床応用

座長：玉木 長良（北海道大学 核医学）
高橋 将文（自治医科大学 分子病態治療研究センター 炎症・免疫研究部）
演者：田原 宣広（久留米大学 心臓・血管内科）
納谷 昌直（北海道大学 循環器内科）
笠間 周（群馬大学 循環器内科）
西村 智（自治医科大学 分子病態研究部／東京大学 循環器内科・TSBMI／JST さきがけ）

(5) 循環器疾患とフレイル・サルコペニア

座長：荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）
山田 純生（名古屋大学 保健学）
演者：山田 純生（名古屋大学 保健学）
木田 圭亮（聖マリアンナ医科大学 循環器内科）（予定）
松澤 泰志（横浜市立大学市民総合医療センター）
松本 泰治（東北大学 循環器内科学）
木村 穰（関西医科大学 健康科学）

(6) スタチン時代の残余リスク

座長：宮内 克己（順天堂大学）
横井 宏佳（福岡山王病院 循環器センター）
演者：平野 勉（昭和大学 糖尿病・代謝・内分泌内科）
池脇 克則（防衛医科大学校 抗加齢血管内科）
島田 和典（順天堂大学 循環器内科学）
井上 晃男（獨協医科大学 心臓・血管内科）
山内 敏正（東京大学 糖尿病・代謝内科）

(7) Structural Intervention

- 座長：桃原 哲也 (榊原記念病院 循環器内科)
 後藤 剛 (倉敷中央病院)
 演者：Friedhelm Beyersdorf (Heart Center Freiburg University, Germany)
 高見澤 招 (榊原記念病院 循環器内科)
 井上 寛治 (PTMC 研究所)
 赤木 禎治 (岡山大学 成人先天性心疾患センター)
 林田健太郎 (慶應義塾大学 循環器内科)
 松本 崇 (仙台厚生病院 心臓血管センター)
 原 英彦 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)

(8) わが国の TAVI, Surgical AVR の再検証

- 座長：南方 謙二 (京都大学 心臓血管外科学)
 小林順二郎 (国立循環器病研究センター)
 演者：白井 伸一 (小倉記念病院 循環器内科)
 桃原 哲也 (榊原記念病院 循環器内科)
 南方 謙二 (京都大学 心臓血管外科学)
 福井 寿啓 (熊本大学 心臓血管外科)
 鳥飼 慶 (大阪大学 心臓血管外科)
 小林順二郎 (国立循環器病研究センター)

13. コントロバーシー

(1) 脂質異常症の ACC/AHA ガイドラインをどう活かすか？

- 座長：山下 静也 (りんくう総合医療センター／大阪大学 総合地域医療学・循環器内科)
 石原 正治 (兵庫医科大学 内科学冠疾患科)
 演者：高山 忠輝 (日本大学 循環器内科学)
 横手幸太郎 (千葉大学 細胞治療内科学)

(2) 高齢者持続性心房細動に対する治療戦略：リズムコントロールかレートコントロールか？

- 座長：松本 万夫 (東松山医師会病院／埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)
 杉 薫 (東邦大学医療センター 大橋病院 循環器内科)
 演者：熊谷浩一郎 (福岡山王病院ハートリズムセンター)
 山下 武志 (心臓血管研究所)

(3) HFpEF 診療において心筋保護薬は有効か？

- 座長：山本 一博 (鳥取大学 病態情報内科学)
 大手 信之 (名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学)
 演者：坂東 泰子 (名古屋大学 循環器内科)
 絹川真太郎 (北海道大学 循環病態内科学)

(4) Destination therapy としての LVAD を認めるか？

- 座長：福嶋 教偉 (国立循環器病研究センター 移植医療部)
 磯部 光章 (東京医科歯科大学 循環制御内科学)
 演者：中谷 武嗣 (国立循環器病研究センター 移植部門)
 山崎 健二 (東京女子医科大学 心臓血管外科)

(5) B型大動脈解離は保存療法か、ステントグラフト内挿術か？

- 座長：加藤 雅明 (森之宮病院 心臓血管外科)
 齋木 佳克 (東北大学 心臓血管外科)
 演者：島村 和男 (大阪大学 心臓血管外科)
 加地修一郎 (神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科)

(6) 院外心停止蘇生患者全例に ICD が要るか？

- 座長：中里 祐二 (順天堂大学浦安病院 循環器内科)
 小林 洋一 (昭和大学 循環器内科学)
 演者：河村 光晴 (昭和大学 循環器内科学)
 西崎 光弘 (横浜南共済病院 循環器内科)

14. ミート・ザ・エキスパート

(1) 臨床の達人から学ぶ診察の極意①

座長：吉川 純一（西宮渡辺心臓・血管センター）
坂本 二哉（半蔵門病院 循環器内科）
演者：羽田 勝征（榊原記念クリニック／埼玉医科大学総合医療センター）
室生 卓（倫生会みどり病院 心臓弁膜症センター内科）
木野 昌也（仙養会 北摂総合病院）

(2) 臨床の達人から学ぶ診察の極意②

座長：和泉 徹（恒仁会 新潟南病院）
今泉 勉（福岡国際医療福祉学院）
演者：沢山 俊民（さわやまクリニック）
高階 経和（高階国際クリニック）
児玉 和久（大阪暁明館病院／尼崎中央病院）

(3) 冠攣縮性狭心症の診断

座長：末田 章三（愛媛県立新居浜病院）
吉野 秀朗（杏林大学 第二内科（循環器内科））
演者：海北 幸一（熊本大学 循環器内科学）
圓谷 隆治（東北大学 循環器内科学）
Peter Ong（Robert-Bosch-Krankenhaus, Germany）
寺川 宏樹（広島鉄道病院 循環器内科）
村上 大介（日本医科大学千葉北総病院 循環器センター）
伊波 巧（杏林大学 第二内科）

(4) Brugada 症候群に対する治療戦略

座長：堀江 稔（滋賀医科大学 呼吸循環器内科）
清水 渉（日本医科大学 循環器内科学）
演者：中野 誠（東北大学 循環器内科学）
高木 雅彦（大阪市立大学 循環器内科学）
高橋 尚彦（大分大学 循環器内科・臨床検査診断学）
草野 研吾（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）

(5) 重症心不全患者に対する心臓リハビリテーション

座長：上月 正博（東北大学 内部障害学）
牧田 茂（埼玉医科大学国際医療センター 心臓リハビリテーション科）
演者：木庭 新治（昭和大学 循環器内科学）
村松 俊裕（埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科）
白石 裕一（京都府立医科大学 循環器内科）
松本 泰治（東北大学 循環器内科学）
肥後 太基（九州大学 循環器内科）

(6) 循環器疾患におけるバイオマーカーの活用

座長：大屋 祐輔（琉球大学 循環器・腎臓・神経内科学）
中村 元行（岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科）
演者：清野 精彦（日本医科大学千葉北総病院 循環器内科学）
佐藤 公雄（東北大学 循環器内科学）
竹石 恭知（福島県立医科大学 循環器・血液内科学）
二宮 利治（九州大学 総合コホートセンター）（予定）

(7) CTEPH の診断と BPA (PTPA) 治療

座長：松原 広己（国立病院機構岡山医療センター 臨床研究部）
杉村宏一郎（東北大学 循環器内科学）
演者：田邊 信宏（千葉大学 先端肺高血圧症医療学）
杉村宏一郎（東北大学 循環器内科学）
松原 広己（国立病院機構岡山医療センター 臨床研究部）

(8) ICD shock reduction を考える

座長：三橋 武司 (自治医科大学さいたま医療センター 循環器科)
 高橋 尚彦 (大分大学 循環器内科・臨床検査診断学)
 演者：野田 崇 (国立循環器病研究センター)
 中井 俊子 (日本大学 先端不整脈治療学)
 志賀 剛 (東京女子医科大学 循環器内科)
 関口 幸夫 (筑波大学 循環器内科学不整脈次世代寄附研究部門)
 真中 哲之 (浅草ハートクリニック)

(9) 心室性不整脈の非薬物療法

座長：副島 京子 (杏林大学 循環器内科)
 野上 昭彦 (筑波大学 循環器内科)
 演者：Shih-Ann Chen (Taipei Veterans General Hospital, Taiwan)
 上田 明子 (杏林大学 循環器内科)
 中原 志朗 (獨協医科大学越谷病院 循環器内科)
 黒木 健志 (筑波大学 循環器内科)
 五十嵐 都 (土浦協同病院 循環器内科)
 因田 恭也 (名古屋大学 循環器内科)

(10) 心筋炎を再考する

座長：今中 恭子 (三重大学 修復再生病理学)
 猪又 孝元 (北里大学 循環器内科学)
 演者：大谷 規彰 (九州大学 循環器内科学)
 森田 佳明 (国立循環器病研究センター 放射線部)
 齋藤 恒徳 (日本医科大学 循環器内科)
 長谷川秀樹 (国立感染症研究所 感染病理部)
 馬場 彰泰 (北里研究所病院 循環器内科)
 中村 一文 (岡山大学 循環器内科)

15. モーニングレクチャー

(1) 冠予備能検査

座長：本江 純子 (菊名記念病院 循環器センター)
 演者：松尾 仁司 (岐阜ハートセンター 循環器内科)

(2) NOACs をどう使いこなすか

座長：新 博次 (日本医科大学多摩永山病院)
 演者：是恒 之宏 (国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター)

(3) 心房細動に対する Cryoablation

座長：福田 浩二 (東北大学 循環器内科学)
 演者：新田 順一 (さいたま赤十字病院 循環器科)

(4) 水利尿薬トルバブタンをどう使いこなすか

座長：安村 良男 (大阪警察病院 循環器内科)
 演者：佐藤 直樹 (日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科・集中治療室)

(5) 心臓の拡張機能

座長：増山 理 (兵庫医科大学 循環器内科)
 演者：山本 一博 (鳥取大学 病態情報内科学)

(6) 心肺運動負荷試験の実際

座長：山科 章 (東京医科大学 循環器内科)
 演者：安達 仁 (群馬県立心臓血管センター)

(7) 3D心エコー

座長：尾辻 豊 (産業医科大学 第2内科学)
 演者：瀬尾 由広 (筑波大学 循環器内科)

(8) OCT/OFDI

座長：赤阪 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科)
 演者：新家 俊郎 (神戸大学 循環器内科)

- (9) 心臓 MRI がもたらす新しい世界 — 4D flow MRIを含めて —
座長：佐久間 肇 (三重大学 放射線医学)
演者：大田 英揮 (東北大学 放射線診断科)
- (10) 心 Fabry 病
座長：北風 政史 (国立循環器病研究センター 臨床研究部)
演者：竹中 俊宏 (垂水市立医療センター垂水中央病院)
- (11) 心サルコイドーシス
座長：筒井 裕之 (北海道大学 循環病態内科学)
演者：伊澤 淳 (信州大学 循環器内科)
- (12) 敗血症
座長：久志本成樹 (東北大学 救急医学)
演者：射場 敏明 (順天堂大学 救急災害医学)
- (13) 若手アンケート (教育研修委員会)
座長：香坂 俊 (慶應義塾大学 循環器内科)
演者：河野 隆志 (慶應義塾大学 循環器内科)
武井 康悦 (東京医科大学 循環器内科)
- (14) 心アミロイドーシス
座長：大石 充 (鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)
演者：小山 潤 (信州大学 循環器内科)
- (15) 中心血圧測定の意義
座長：石光 俊彦 (獨協医科大学 循環器・腎臓内科)
演者：橋本潤一郎 (東北大学 腎・高血圧・内分泌学)
- (16) デバイス感染におけるリード抜去
座長：合屋 雅彦 (東京医科歯科大学 不整脈センター)
演者：庄田 守男 (東京女子医科大学 循環器内科)
- (17) 肺動脈性肺高血圧症に対する肺血管拡張薬の使い方
座長：江本 憲昭 (神戸薬科大学 臨床薬学)
演者：松原 広己 (国立病院機構岡山医療センター 臨床研究部) (予定)
- (18) たこつぼ心筋症
座長：三浦 哲嗣 (札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学)
演者：栗栖 智 (広島大学 循環器内科学)
- (19) 「Ⅲ群薬の使い方の実際」 — 使い分け、点滴から内服への切り替え、増減の実際 —
座長：井上 博 (富山県済生会富山病院)
演者：志賀 剛 (東京女子医科大学 循環器内科)
- (20) 本邦における感染性心内膜炎の現況
座長：宮武 邦夫 (医療法人 吉田小野原東診療所)
演者：中谷 敏 (大阪大学 機能診断科学)
- (21) 遺伝子検査法の基礎を学ぶ — 遺伝カウンセリングとは —
座長：堀江 稔 (滋賀医科大学 呼吸循環器内科)
演者：青木 洋子 (東北大学 遺伝医療学)
- (22) 心筋の病理や肺動脈の病理について
座長：上田真喜子 (森ノ宮医療大学／大阪市立大学)
演者：大郷 恵子 (国立循環器病研究センター)
- (23) 時計遺伝子と心臓病
座長：野出 孝一 (佐賀大学 循環器内科)
演者：前村 浩二 (長崎大学 循環器内科学)
- (24) 造影剤腎症
座長：斎藤 能彦 (奈良県立医科大学 第一内科)
演者：石井 秀樹 (名古屋大学 循環器内科学)
- (25) 慢性血栓性肺高血圧症の診断と治療
座長：伊藤 正明 (三重大学 循環器・腎臓内科学)
演者：杉村宏一郎 (東北大学 循環器内科学)

- (26) 心臓リハビリテーションの処方について
座長：白石 裕一（京都府立医科大学 循環器内科）
演者：折口 秀樹（JCHO 九州病院）
- (27) メタボローム解析
座長：清元 秀泰（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域医療支援部門）
演者：高島 成二（大阪大学）
- (28) 笑いと心臓病
座長：住吉 徹哉（榊原記念病院）
演者：大平 哲也（福島県立医科大学 疫学）

16. Late Breaking Clinical Trials/Late Breaking Cohort Studies(公募)

17. 教育セッション

教育セッションⅠ：

ビデオセッションⅠ-1 慢性血栓性肺高血圧症における経皮的肺動脈形成術

座長：福本 義弘（久留米大学 心臓血管内科）

演者：杉村宏一郎（東北大学 循環器内科学）

ビデオセッションⅠ-2 心房細動に対するクライオアブレーション

座長：沖重 薫（横浜みなと赤十字病院 心臓病センター内科）

演者：山根 禎一（東京慈恵会医科大学 循環器内科）

教育セッションⅡ：心臓血管イメージングの最前線

座長：尾崎 行男（藤田保健衛生大学 循環器内科）

竹石 恭知（福島県立医科大学 循環器・血液内科学）

演者：中谷 敏（大阪大学 機能診断科学）

納谷 昌直（北海道大学 循環器内科）

佐久間 肇（三重大学 放射線科）

川崎 友裕（天神会新古賀病院 心臓血管センター）

天野 哲也（愛知医科大学 循環器内科）

尾崎 行男（藤田保健衛生大学 循環器内科）

高山 忠輝（日本大学 循環器内科）

川崎 雅規（岐阜大学 循環病態学）

教育セッションⅢ：わが国における心臓移植

座長：布田 伸一（東京女子医科大学 重症心不全制御学）

松居 喜郎（北海道大学 循環器・呼吸外科）

演者：福嶋 教偉（国立循環器病研究センター 移植医療部）

篠岡 太郎（東京医科歯科大学 循環器内科）

坂田 泰史（大阪大学 循環器内科学）

齋木 佳克（東北大学 心臓血管外科）

小野 稔（東京大学 心臓血管外科）

田ノ上禎久（九州大学 心臓血管外科）

布田 伸一（東京女子医科大学 重症心不全制御学）

磯部 光章（東京医科歯科大学 循環制御内科学）

18. 日本心臓財団佐藤賞受賞記念講演

座長：下川 宏明（東北大学 循環器内科学）

演者：受賞者

19. 審査講演会

(1) YIA Clinical Research 部門審査講演

座長：山岸 正和（金沢大学 臓器機能制御学・循環器内科）

(2) YIA Basic Research 部門審査講演

座長：山岸 正和（金沢大学 臓器機能制御学・循環器内科）

- (3) 国際留学生 YIA 審査講演
座長：小室 一成（東京大学 循環器内科学）
- (4) コメディカル賞審査講演
座長：山岸 正和（金沢大学 臓器機能制御学・循環器内科）

20. 委員会セッション

- (1) 国際交流委員会
海外留学生セミナー・留学支援助成報告会
座長：小室 一成（東京大学 循環器内科学）
演者：梶本 英美（Division of Cardiology, University of Washington, Seattle, USA）
金子 英弘（Herzzentrum Brandenburg, Germany）
尹 誠漢（Asan Medical Center, Korea）
荒井 隆秀（慶應義塾大学 循環器内科）
- (2) 学術委員会
①Translational Research 振興事業最終報告
②成人先天性心疾患部会セミナー
- (3) ガイドライン委員会
①ガイドラインに学ぶ
②ガイドライン解説
- (4) 健保対策委員会
保険医療セミナー
- (5) 心臓移植委員会
第12回心臓移植セミナー
『わが国の心臓移植を取り巻く諸問題と将来』
座長：磯部 光章（東京医科歯科大学 循環制御内科学）
松居 喜郎（北海道大学 心臓血管外科）
演者：前嶋 康浩（東京医科歯科大学 循環器内科）
福嶋 教偉（国立循環器病研究センター 移植医療部）
白石 公（国立循環器病研究センター 小児循環器科）
遠藤美代子（東京大学 移植医療部）
戸田 宏一（大阪大学 心臓血管外科）
- (6) 医療倫理委員会
①第15回医療安全・医療倫理に関する講演会
②医療倫理に関する講演会
- (7) 禁煙推進委員会
①第15回禁煙推進セミナー
②第14回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座
- (8) 循環器救急医療委員会
①日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
②第14回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座
- (9) 男女共同参画委員会
第6回男女共同参画委員会セッション
- (10) 編集委員会
Circulation Journal Award Session
座長：下川 宏明（東北大学 循環器内科学）
- (11) 予防委員会
第1回予防セミナー
- (12) IT/Database 委員会
第1回 IT/Database 委員会セッション

21. 市民公開講座

日 時：2016年3月5日(土)13:30～15:30(予定)

会 場：仙台国際センター 大ホール

テーマ：長寿のための心血管病の知識(仮)

座 長：下川 宏明(東北大学 循環器内科学)

特別講演：帯津 良一(直心会 帯津三敬病院)

演 者：伊藤 宏(秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学)

久保田 功(山形大学 第一内科)

竹石 恭知(福島県立医科大学 循環器・血液内科学)

22. サテライトセミナー(プレセミナー, ランチョンセミナー, ファイアサイドセミナー)

23. 機器, 書籍展示

プレレジストレーションのお知らせ

第80回学術集会では、参加登録、教育セッション、ランチョン・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行います。(国内参加者のみ)

第80回学術集会ホームページ「プレレジストレーション」ページからご登録ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcs2016/pre/index.html>

教育セッション、プレセミナー・ランチョン・ファイアサイドセミナーのみのプレレジストレーションはできません。

✦ 受付期間

参加登録 ▶ 2016年 1月6日[水] 15:00～ 2016年 2月25日[木] 17:00まで

教育セッション ▶ 2016年 1月6日[水] 15:00～ 2016年 2月25日[木] 17:00まで

**プレセミナー
ランチョンセミナー
ファイアサイドセミナー** ▶ 2016年 2月3日[水] 15:00～ 2016年 2月25日[木] 17:00まで

*参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。

✦ 参加登録費

参加区分	参加費(事前)	参加費(当日)	必要な提示物	配布物	備考
日本循環器学会会員	15,000円	20,000円	—	プログラム集 抄録集CD	プログラム集、 抄録CDは事前配布
日本循環器学会準会員	5,000円	7,000円	所定の証明書	プログラム集	プログラム集は 事前配布
非会員	15,000円	20,000円	—	—	—
非会員(コメディカル)	5,000円	7,000円	所定の証明書	—	—
研修医(前期)	当日登録のみ	無料	所定の証明書	プログラム集	—
学部学生(医学部・薬学部・ 工学部等含む)		無料	学生証	プログラム集	—
海外参加者 (日本からの留学生は除く)		15,000円	—	プログラム集 抄録集CD	—
在日留学生		5,000円	所定の証明書	プログラム集 抄録集CD	—

※参加区分「日本循環器学会正会員」の参加費 15,000 円(当日 20,000 円)、
「日本循環器学会準会員」の参加費 5,000 円(当日 7,000 円)に消費税はかかりません。(不課税)

▶「日本循環器学会準会員」、コメディカルの登録

- ・日本循環器学会準会員、コメディカルの方は所定の証明書の提出が必要です。
登録確認画面、もしくは下記ページよりダウンロードしてください。
<http://www2.convention.co.jp/jcs2016/pre/index.html>

▶研修医（前期）、留学生の登録

- ・ブレジストレーションは「日本循環器学会正会員・準会員」、「非会員医師および医療関係者」、のみを対象とさせていただきます。
- ・研修医(前期)、学部学生、海外参加者、留学生は会期当日に受付を行ってください。
- ・研修医(前期)、留学生は所定の証明書の提出が必要です。
- ※証明書の提出がない場合は「非会員医師および医療関係者」当日参加費 20,000 円をお支払いいただきますので、予めご注意ください。
- ・証明書は下記ページよりダウンロードしてください。
<http://www2.convention.co.jp/jcs2016/pre/index.html>

▶教育セッション

- ・参加費は3,000円です。教育セッションは、2016年2月25日(木)17:00までお申し込みが可能です。
- ・お申し込み後の返金はできませんので、登録の際はご注意ください。
- ・教育セッションの内容については下記ページをご参照ください。
<http://www2.convention.co.jp/jcs2016/kyouiku/index.html>
- ※専門医研修単位登録について、ブレジストレーションを行った場合でも、必ず教育セッション会場入口「単位登録受付」での登録が必要です。会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

▶プレセミナー、ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナー

- ・2016年2月25日(木)17:00までお申し込みが可能です。
- ・ブレジストレーションをされた方のプレセミナー、ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナーのチケットは、ネームカードと同時に発行いたします。

▶専門医研修単位登録

- ・専門医研修単位登録については、学術集会の会期中に、各単位登録受付にてご登録ください。
- ※ブレジストレーションを行った場合でも、必ず学術集会会場内各「単位登録受付」での登録が必要です。会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

❖ プレレジストレーション登録方法と学会当日までの流れ



学術集会HP「プレレジストレーション」にアクセス



登録画面に必要事項を入力



登録内容を確認後、オンラインにて参加費をお支払い



ご登録のE-mailアドレスに「プレレジストレーション完了メール」が到着

★ご案内の登録確認画面より「登録確認書」をダウンロード・印刷、もしくは携帯端末用メールアドレスをご入力ください（バーコードが送信されます）。

（学術集会当日）



学術集会当日は、ご自身でダウンロード・ご印刷いただいた「登録確認書」をお持ちいただくか、ご自身でご入力された携帯端末メールアドレスに配信されたバーコードをご用意ください。

自動発券機(CARM)より、ネームカード・領収書・教育セッションチケット(お申し込みの方のみ)・ランチョン・ファイアサイドセミナーチケット(お申し込みの方のみ)が発行されます。

プレレジストレーション時の注意点

- プレレジストレーション完了メールの自動配信・その他のご連絡はすべてE-mailで行います。
必ず連絡先として使用されるE-mailアドレスをご入力ください。
- E-mailアドレスにログインIDを記載いたします。
個人情報登録完了メールにログインIDが記載されますので、ご自身で保管してください。
- 参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重登録にご注意ください。
- 登録内容の修正・変更は受付期間であれば、プレレジストレーション画面上にてご自身で修正・変更が可能です。
- 団体登録は受付いたしません。
- 領収書は、学術集会会期中に参加証(ネームカード)と併せて発行いたします。会期終了後は領収書の発行は行いません。

◆プレレジストレーションに関するお問い合わせ先

第80回日本循環器学会学術集会 参加登録事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル14階
TEL: 03-3508-1250 (受付時間: 平日10時より17時半まで)
FAX: 03-3508-1756
E-mail: reg-jcs2016@convention.co.jp

プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題要項

プレナリーセッション、シンポジウム、一般演題の開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く)。

1) プレナリーセッション：

- 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 発表者は各専門領域における各自のデータに加え、現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳をつけます)。
- 総合討論は行わない。

2) シンポジウム：

- 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 各自の最先端の研究について発表し、自由な討論を行う。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳はつけません)。

3) 一般演題：

- 発表者は原則として、応募時に選択した日本語または英語で行う(同時通訳なし)。
- 一般演題の発表形式は、以下のように分けられます。
 - ① Featured Research Sessions in English(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成)
 - ② 一般演題口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)
 - ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)

4) 特別企画：

- 真下記念講演、トピックス(*), コントロバーシー, ミートザエキスパート(*), ラウンドテーブルディスカッション, モーニングレクチャー, 教育セッションは日本語で行われます。
*一部セッションは英語で行われます。
- 美甘レクチャー, 特別講演は英語で行われ, 同時通訳付きとなります。

チーム医療セッション(旧：コメディカルセッション)開催要項

〈チーム医療セッション概要〉

第80回日本循環器学会学術集会では、チーム医療の方を対象としたセッションを会期中に行います。チーム医療の方が中心となる一般演題(口述・ポスター)、5つのシンポジウム、そして専門家による5つの教育講演がございます。なお、コメディカル賞(口述)において優秀演題を選定し、学術集会にて表彰いたします。

多数のご参加をお待ち申し上げます。

参加資格

チーム医療スタッフ(看護師、保健師、薬剤師、臨床工学技士、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、診療放射線技師、栄養士、救急救命士、医療ソーシャルワーカー、その他)

※日本循環器学会の正会員・準会員でなくても参加ができます。

参加費

7,000円(事前申込(プレレジストレーション)の場合は5,000円)(所定の証明書の提示が必要です)

※チーム医療セッション以外の第80回日本循環器学会学術集会のセッションにもご参加いただけます。

一般演題(口述・ポスター)、コメディカル賞審査講演会 ※詳細は次号にて掲載

教育講演

1. 臨床研究・臨床試験を適正に実施するための基礎知識

座長：楠岡 英雄 (国立病院機構大阪医療センター)

長谷川純一 (鳥取大学 薬物治療学)

演者：笹栗 俊之 (九州大学 臨床薬理学)

松本 直樹 (聖マリアンナ医科大学 薬理学)

相澤 千恵 (東北大学 臨床研究推進センター)

河野 健一 (先端医療振興財団臨床研究情報センター データ管理部)

2. 成人先天性心疾患診療に役立てる心エコー検査

座長：戸出 浩之 (群馬県立心臓血管センター)

富松 宏文 (東京女子医科大学)

演者：幸山佳津美 (国立病院機構大阪医療センター 臨床検査科)

小坂橋俊美 (北里大学 循環器内科学)

早瀬 康信 (徳島大学 小児科)

小山耕太郎 (岩手医科大学 小児科学講座)

3. 身体的治療を受ける認知症患者のケア：実践に必要な専門的知識

座長：鈴木みずえ (浜松医科大学 地域看護学講座)

伊藤 弘人 (国立精神・神経センター 精神保健研究所)

演者：大久保和実 (市立豊中病院)

鈴木みずえ (浜松医科大学 地域看護学講座)

飯島 勝矢 (東京大学 高齢社会総合研究機構)

4. 災害時の循環器医療を考える

座長：荻尾 七臣 (自治医科大学 循環器内科学部門)

吉田 俊子 (宮城大学 看護学部)

演者：西澤 匡史 (南三陸病院)

高橋 潤 (東北大学 循環器内科学)

瀬戸 初江 (東北薬科大学病院)

高橋 智子 (福島県立医科大学附属病院 薬剤部)

佐久間裕司 (星総合病院 リハビリテーション科)

5. 心臓リハビリテーションに活かす臨床検査

座長：田嶋 明彦 (埼玉県立大学)

前田 知子 (榊原記念クリニック 検査科)

演者：小林 康之（群馬県立心臓血管センター）
前田 知子（榊原記念クリニック 検査科）
窪田 琢郎（鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学）
安 隆則（獨協医科大学日光医療センター 心臓・血管内科）

シンポジウム

1. 心臓CTによる機能評価の現状と将来

〈日本放射線技術学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム〉

座長：小山 靖史（桜橋渡辺病院）
梁川 範幸（東千葉メディカルセンター）
演者：石井 満（常陸大宮済生会病院）
下宮 大和（九州大学病院 医療技術部放射線部門）
赤木 憲明（岡山大学病院 医療技術部放射線部門）
徳永 洋二（桜橋渡辺病院 心臓・血管センター画像診断科）
山口 隆義（地域医療機能推進機構北海道病院 放射線部）
堀江 誠（渡辺医学会 桜橋渡辺病院）

2. 循環器医療における地域包括ケアシステムの構築

〈日本循環器看護学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム〉

座長：三浦稚郁子（榊原記念病院 看護部）
山田佐登美（川崎医科大学）
演者：榎田めぐみ（昭和大学 看護学科）
奥木喜久江（東海大学 生理科学）
齋藤 洋（亀田総合病院 リハビリテーション室）
大蔵能律子（諏訪中央病院）
弓野 大（ゆみのハートクリニック）

3. 循環器疾患とサルコペニアを考える

〈日本サルコペニア・フレイル研究会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム〉

座長：荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）
飯島 勝矢（東京大学 高齢社会総合研究機構）
演者：荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）
神谷健太郎（北里大学病院 リハビリテーション部）
山本 壱弥（国立循環器病研究センター 心血管リハビリテーション科）
原 純也（武蔵野赤十字病院 栄養科）
眞茅みゆき（北里大学 看護システム学）

4. 重複障害をもった循環器疾患患者のリハビリテーション

〈日本心臓リハビリテーション学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム〉

座長：高橋 哲也（東京工科大学 医療保健学部）
上月 正博（東北大学 内部障害学）
演者：後藤 葉一（国立循環器病研究センター 心臓血管内科／循環器病リハビリテーション部）
牧田 茂（埼玉医科大学国際医療センター 心臓リハビリテーション科）
榊 聡子（IMS(イムス)グループ 春日部中央総合病院 リハビリテーション科）
角谷 尚哉（帯広協会病院 心臓リハビリテーションセンター）

5. 補助循環治療の現状と将来 —急性期から慢性期—

〈日本体外循環技術医学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム〉

座長：吉田 秀人（天理よろづ相談所病院 臨床検査部）
中谷 武嗣（国立循環器病研究センター 移植部門）
演者：天尾 理恵（東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部）
肥後 太基（九州大学 循環器内科）
西中 知博（東京女子医科大学 心臓血管外科）
堀 由美子（国立循環器病研究センター 看護部）
吉田 譲（埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部）
吉田 靖（大阪大学医学部附属病院 ME サービス部）

関連会合開催申し込みについてのご案内

第80回日本循環器学会学術集会の会期中に仙台国際ホテル・ウエスティンホテル仙台・ホテルメトロポリタン仙台・仙台市民会館にて開催される各種関連会合のお申し込みを受付しております。

詳細はホームページに記載いたしますので、ご確認ください。

なお、正式プログラムの実施時間帯においては、関連会合は開催しないことを基本方針としております。ご理解とご協力をお願いいたします。

申込開始日：2015年11月20日(金)正午より

申込締切日：2016年1月15日(金)正午まで

①

2015年
11/20(金)～1/15(金)
開催申込み・受付

②

2016年2月上旬(予定)
学会会場使用決定後、
関連会合会場決定

③

2月中旬頃～
追加手配物の
申込／変更

④

～3/2(水)
見積書発行・
手配内容確定

*詳しくは第80回日本循環器学会学術集会ホームページ
<http://www2.convention.co.jp/jcs2016/kanren/index.html> をご覧ください。

*会場に関しては先着順でのご案内とさせていただきます。
室数が限られておりますのでご用意できない場合もございます。

***2016年3月2日(水)**以降のキャンセルにつきましては、キャンセル料(室料・手配物料金の100%)が発生いたします。 予め、ご了承下さいますようお願いいたします。

宿泊・交通のご案内

2016年3月18日（金）～20日（日）の3日間、仙台国際センター・東北大学百周年記念会館・仙台市民会館にて第80回日本循環器学会学術集会が開催されます。全国各地よりご参加の皆様方の宿泊手配を（株）JTB 東北で担当させていただきますことになりました。つきましては、宿泊プランのご案内（以下参照）をお送り致します。何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

1. お申込み方法

お申込方法はインターネット申込とFAX・メール申込をご用意しております。

①インターネットで申込の場合 <https://amarys-jtb.jp/jcs2016/> 学術集会ホームページ「宿泊案内」からアクセス下さい。インターネットでのお申込の場合、空室状況が表示されておりますので、ご希望ホテルの確保可否が瞬時に確認できます。また、お支払い方法もクレジットカードのオンライン決済の他、インターネットバンク、コンビニエンスストアからのお支払い、銀行振込が可能になっております。大変便利なインターネット受付を是非ご利用下さい。

②FAX・メール対応で申込の場合

別紙申込書に必要事項をご記入の上、郵送、FAX またはメールにてお申込み下さい。

お支払い方法については、①銀行振込、②クレジットカード支払いより選択が可能です。

1) 銀行振込をご選択の場合---振込案内および宿泊予約確認書を送付させていただきますので、ご確認の上、所定の期日までにお振込下さい。＊振込手数料は、お客様負担をお願い致します。

2) クレジットカード支払いをご選択の場合---個人情報保護、誤送信による事故防止の観点より、FAXでのカード情報の送信はお受け致しておりません。お電話でご連絡をくださいますよう、お願い申し上げます。なおクレジットカード支払いをご希望される場合は「通信販売契約」が適用されます。詳しくはご旅行条件書にてご確認ください。

ご利用をいただけるクレジットカード ----- VISA / Master / JCB / AMEX / Dinners

*ご旅行（ご宿泊）代金全額を1回払いで引き落としさせていただきます。

ご旅行（ご宿泊）代金の入金確認後、宿泊予約確認書を送付致します。

2. 宿泊プランのご案内

◆ご宿泊取扱日：2015年3月17日（木）/18日（金）/19日（土）/20日（日）の4泊分

◆表示の旅行代金（詳細次頁参照）は1泊朝食付、税金及びサービス料を含むお1人様・ご1泊あたりの金額です。

※ただしホテル一覧の中で●は食事なし、▲は無料の軽朝食サービス付となります。

◆宿泊プランは弊社募集型企画旅行契約にて承ります。添付のご旅行条件書をご一読の上お申込をお願い致します。

3. 申込締切日

2016年2月28日（日） ※満員になり次第締め切らせていただきます※

4. 交通について

ご希望に応じて手配を致します。（別途手配旅行契約となります。）

お問合せ先までメール、またはお電話にてご連絡ください。

5. 添乗員

この旅行では、添乗員が同行せず、約款に定める旅程管理は行いません。お客様に旅行サービスの提供を受けるために必要な確認書類をお渡し致しますので、お手続きはお客様ご自身で行っていただきます。

6. 最少催行人員

1名様

<日程表>

日次	行程	食事
1	ご自宅または前泊地、または各地→（各自移動、お客様負担）→各宿泊施設	朝：× 昼：× 夕：×
2	各宿泊施設→（各自移動、お客様負担）→ご自宅または次泊地、または各地	朝：○ 昼：× 夕：×

7. 変更・取消について

◆変更・取消の場合はお早めに郵送、FAX、E-mailにてご連絡下さい（電話ではお受け致しかねます）。

◆お申込み後の取消（契約解除）は、下記の取消料を申し受けます。下記取消料を差し引いた残金を後日ご返金致します。（取消日＝宿泊開始日の前日から起算してさかのぼって）

21日前まで	20日～8日前 の解除	7日目にあたる日 以降の解除	前日の解除	当日の解除*右記除く	旅行開始後、 無連絡（不泊）
無料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行代金の100%

8. 個人情報の取り扱いについて

お送りいただきました個人情報については、連絡の為に利用させていただく他、運送・宿泊機関等が提供するサービスの手配・受領の為の手続き、あるいは当学術集会の円滑な運営の為に必要な範囲内で利用致します。

9. お問い合わせ・申込書送付先

観光庁長官登録旅行業第64号 (株)ジェイ・ビー・エー代理業/東京都知事登録旅行業者代理業第10718号

(株)JTBビジネスネットワーク JTB東北ECデスク「第80回日本循環器学会学術集会」係
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル7階

TEL: 0120-989-960 (フリーダイヤル) FAX 0120-937-224 (フリーダイヤル) e-mail: jcs80@jbn.jtb.jp

[営業時間] 午前9時30分～午後5時30分 (土・日・祝日及び12/30～1/3休業) 総合旅行業務取扱管理者: 中根 三千郎

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引責任者です。
ご契約に関し担当者からのご説明に不明の点がありましたら、ご遠慮なく上記旅行業務取扱管理者にご質問ください。

旅行企画・実施: 株式会社JTB東北 地域交流・MICE 事業部

観光庁長官登録旅行業第1573号 仙台市青葉区大町一丁目4-1

一般社団法人日本旅行業協会正会員、旅行業公正取引協議会会員

■旅行代金: 1泊朝食付・サービス料/税金込のお一人様あたり金額

※ホテル一覧の中で●は食事なし、▲は無料の軽朝食サービス付となります。

地区	番号	ホテル名	部屋タイプ	旅行代金 (お1人様)				最寄駅/会場 (仙台国際センター) へのアクセス
				3/17 (木)	3/18 (金)	3/19 (土)	3/20 (日)	
仙台市中心部	1	アークホテル仙台青葉通	シングル	9,180	9,180	9,180	9,180	ホテルまで 大町西公園駅 徒歩約2分 会場まで 地下鉄約1分
			ツイン	8,400	8,400	8,400	8,400	
			ツイン1名利用	12,500	12,500	12,500	12,500	
			ダブル1名利用	12,500	12,500	12,500	12,500	
	2	ホテルパールシティ仙台	シングル	8,000	8,000	8,000	8,000	ホテルまで 青葉通一番町駅 徒歩約2分 会場まで 地下鉄約3分
			ツイン	7,000	7,000	7,000	7,000	
			ツイン1名利用	8,640	8,640	8,640	8,640	
	3	ホテルベルエア仙台	シングル	9,180	9,180	9,180	—	ホテルまで 青葉通一番町駅 徒歩約2分 会場まで 地下鉄約3分
	4	ホテルグランテラス 仙台南分町	シングル	10,100	10,100	10,100	10,100	ホテルまで 青葉通一番町駅 徒歩約5分 会場まで 地下鉄約3分
			ツイン	10,100	10,100	10,100	10,100	
			ツイン1名利用	13,600	13,600	13,600	13,600	
	5	ホテルプレミアム グリーンソブリン	シングル	10,100	10,100	10,100	10,100	ホテルまで 勾当台公園駅 徒歩約5分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約25分
	6	スマイルホテル 仙台南分町	シングル	9,420	9,420	10,500	9,420	ホテルまで 広瀬通駅 徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
			ツイン	8,650	8,650	9,650	8,650	
			ツイン1名利用	17,300	17,300	19,300	17,300	
	7	●仙台リッチホテル南分町	シングル	7,600	7,600	7,600	7,600	ホテルまで 勾当台公園駅 徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約25分
	8	江陽グランドホテル	シングル	9,600	9,600	9,600	9,600	ホテルまで 広瀬通駅 徒歩約1分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
			デラックスシングル	12,600	12,600	12,600	12,600	
			ツイン	9,600	9,600	9,600	9,600	
			ツイン1名利用	18,600	18,600	18,600	18,600	
	9	三井ガーデンホテル仙台	シングル	21,000	21,000	21,000	21,000	ホテルまで 広瀬通駅 徒歩約1分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
			ツイン	15,400	15,400	15,400	15,400	
			ツイン1名利用	28,800	28,800	28,800	28,800	
			ダブル1名利用	23,000	23,000	23,000	23,000	
	10	ホテルプレミアム グリーンヒルズ	シングル	11,100	11,100	11,100	11,100	ホテルまで 広瀬通駅 徒歩約2分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
			ツイン	10,500	10,500	10,500	10,500	
	11	ホテルクラウンヒルズ 仙台青葉通り	シングル	12,100	12,100	12,100	12,100	ホテルまで 広瀬通駅 徒歩約2分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
	13	仙台国際ホテル	シングル	11,400	11,400	11,400	11,400	ホテルまで 仙台駅より徒歩約5分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
			ツイン	9,180	9,180	9,180	9,180	
			ツイン1名利用	14,600	14,600	14,600	14,600	
			デラックスツイン	14,600	14,600	14,600	14,600	
			デラックスツイン 1名利用	22,680	22,680	22,680	22,680	
	14	杜の湯ドリーミン EXPRESS 仙台広瀬通	シングル	13,500	13,500	13,500	13,500	ホテルまで 広瀬通駅 徒歩約1分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
	15	ホテルプレミアム グリーンプラス	シングル	10,100	10,100	10,100	10,100	ホテルまで 仙台駅より徒歩約5分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
	16	青葉の湯ドリーミン 仙台ANNEX	シングル	15,400	15,400	15,400	15,400	ホテルまで 広瀬通駅 徒歩約1分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
	17	ホテルフォーリッジ仙台	シングル	10,700	9,180	11,900	11,900	ホテルまで 仙台駅より徒歩約4分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
			ツイン	9,180	8,100	10,800	10,800	

地区	番号	ホテル名	部屋タイプ	旅 行 代 金				最寄駅/会場（仙台国際センター）へのアクセス
				3/17 (木)	3/18 (金)	3/19 (土)	3/20 (日)	
仙 台 市 中 心 部	18	ホテルユニサイト仙台	シングル	9,300	9,300	9,300	9,300	ホテルまで 仙台駅より徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
	19	●ホテルセントラル仙台	シングル	8,800	8,800	8,800	8,800	ホテルまで 仙台駅より徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
	20	ユニゾイン仙台	シングル	8,100	8,100	8,100	8,100	ホテルまで 仙台駅より徒歩約4分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
			ツイン	7,100	7,100	7,100	7,100	
	21	ホテルグリーンマーク	シングル	9,800	9,800	9,800	9,800	ホテルまで 仙台駅より徒歩約4分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
	22	ホテルモントレ仙台	シングル	15,660	15,660	15,660	15,660	ホテルまで 仙台駅より徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
			デラックスシングル	18,900	18,900	18,900	18,900	
			ツイン	13,500	13,500	13,500	13,500	
			ツイン1名利用	24,300	24,300	24,300	24,300	
	23	仙台ワシントンホテル	シングル	14,600	14,600	14,600	14,600	ホテルまで 仙台駅より徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
			ツイン	13,000	13,000	13,000	13,000	
			ツイン1名利用	24,300	24,300	24,300	24,300	
			ダブル1名利用	18,900	18,900	18,900	18,900	
	25	アバヴィラホテル 仙台駅五橋	シングル	8,400	8,400	8,400	8,400	ホテルまで 仙台駅より徒歩約8分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
	26	仙台ビジネスホテル	シングル	7,600	7,600	7,600	7,600	ホテルまで 勾当台公園駅 徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約25分
	27	ホテルグリーンセレクト	シングル	9,800	9,800	9,800	9,800	ホテルまで 広瀬通駅 徒歩約2分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
	28	ホテル法華クラブ仙台	シングル	8,800	8,800	8,800	8,800	ホテルまで 仙台駅より徒歩約10分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
			スタジオツイン	8,400	8,400	8,400	8,400	
			スタジオツイン 1名利用	11,000	11,000	11,000	11,000	
			ツイン	12,100	12,100	12,100	12,100	
			ツイン1名利用	18,800	18,800	18,800	18,800	
	29	第一インパーク	シングル	9,500	9,500	11,400	11,400	ホテルまで 仙台駅より徒歩約8分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
			ツイン	8,100	8,100	11,100	11,100	
	30	ホテルグリーン パシフィック	シングル	9,800	9,800	9,800	9,800	ホテルまで 仙台駅より徒歩約4分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
	31	ホテルモンテエルマーナ 仙台	シングル	8,700	8,700	10,600	10,600	ホテルまで 仙台駅より徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
	32	JAL シティ仙台	シングル	11,300	11,300	12,200	12,200	ホテルまで 仙台駅より徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
			ツイン	10,800	10,800	11,300	11,300	
			ツイン1名利用	19,800	19,800	20,800	20,800	
			ダブル1名利用	18,800	18,800	19,600	19,600	
	33	リッチモンドホテル仙台	シングル	8,800	8,800	15,800	8,800	ホテルまで 仙台駅より徒歩約8分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
			ツイン	8,800	8,800	13,800	8,800	
			ダブル	9,800	9,800	12,800	9,800	
	34	ロイヤルメイフラワー 仙台	シングル	6,000	6,000	6,000	6,000	ホテルまで 仙台駅より徒歩約10分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
			ツイン	4,600	4,600	4,600	4,600	
			ツイン1名利用	8,700	8,700	8,700	8,700	
	35	ダイワロイネットホテル 仙台	シングル	11,400	11,400	11,400	11,400	ホテルまで 宮城野通駅より徒歩約2分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
			ツイン	9,600	9,600	9,600	9,600	
			ツイン1名利用	12,600	12,600	12,600	12,600	
	36	ホテルレオパレス仙台	シングル	13,100	13,100	13,100	13,100	ホテルまで 宮城野通駅より徒歩約1分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約10分
	37	ANAホリデイイン仙台	シングル	12,500	12,500	12,500	12,500	ホテルまで 宮城野通駅より徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
			ツイン	10,300	10,300	10,300	10,300	
	38	▲コンフォートホテル 仙台東口	シングル	8,900	8,900	8,900	8,900	ホテルまで 仙台駅より徒歩約5分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
			ツイン1名利用	16,100	16,100	16,100	16,100	
			ハイクラスツイン	11,600	11,600	11,600	11,600	
			ハイクラスツイン 1名利用	21,600	21,600	21,600	21,600	
	39	ホテルメルパルク仙台	シングル	8,100	8,100	8,100	8,100	ホテルまで 榴ヶ岡駅より徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約15分
			ツイン	7,100	7,100	7,100	7,100	
			ツイン1名利用	10,100	10,100	10,100	10,100	
	40	▲東横イン仙台西口中央	シングル	7,668	7,668	7,668	7,668	ホテルまで 仙台駅より徒歩約6分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
	41	▲東横イン仙台西口 広瀬通	シングル	7,668	7,668	7,668	7,668	ホテルまで 広瀬通駅 徒歩約3分 会場まで 徒歩と地下鉄にて約20分
			ツイン	9,828	9,828	9,828	9,828	
			ツイン1名利用	15,700	15,700	15,700	15,700	

※ホテル一覧の中で●は食事なし、▲は無料の軽朝食サービス付となります。

地区	番号	ホテル名	部屋タイプ	旅行代金				最寄駅／会場（仙台国際センター）へのアクセス
				3/17 (木)	3/18 (金)	3/19 (土)	3/20 (日)	
仙台市近郊	42	▲ホテルルートイン仙台長町インター	シングル	7,600	7,600	7,600	7,600	仙台駅まで 徒歩・地下鉄で約30分
	43	仙台ロイヤルパークホテル	スタンダードツイン	11,800	11,800	11,800	11,800	仙台駅まで タクシー・地下鉄で約30分
			スタンダードダブル	11,800	11,800	11,800	11,800	
	44	▲ホテルルートイン仙台泉インター	シングル	7,800	7,800	7,800	7,800	仙台駅まで タクシー・地下鉄で約35分
	45	ベストウェスタンホテル仙台	シングル	10,800	10,800	10,800	10,800	仙台駅まで タクシー約20分
			ツイン	10,300	10,300	10,300	10,300	
	46	▲ホテルルートイン多賀城駅東	シングル	7,600	7,600	7,600	7,600	仙台駅まで 電車で約25分
	47	▲ホテルルートイン仙台多賀城	シングル	7,600	7,600	7,600	7,600	仙台駅まで 徒歩・電車で約40分
	48	▲ホテルルートイン名取	シングル	9,100	9,100	9,100	9,100	仙台駅まで 徒歩・電車で約30分
			ツイン	8,000	8,000	8,000	8,000	
	49	▲ホテルルートイン古川駅前	シングル	9,100	9,100	9,100	9,100	仙台駅まで 徒歩・新幹線で約30分
	50	バリュー・ザ・ホテル名取	シングル	7,500	7,500	7,500	7,500	仙台駅まで タクシー・電車で約30分
	51	バリュー・ザ・ホテル三本木	シングル	6,300	6,300	6,700	6,300	仙台駅まで タクシー・新幹線で約60分
	52	バリュー・ザ・ホテル矢本	シングル	6,800	6,800	7,100	6,800	仙台駅まで タクシー・電車で約60分
	53	ホテル大観荘	シングル	9,300	9,300	11,500	11,500	仙台駅まで タクシー・電車で約50分
			ツイン1名利用	13,700	13,700	15,800	15,800	
			ダブル1名利用	13,700	13,700	15,800	15,800	
	54	鷹泉閣岩松旅館	和室1～2名定員	13,700	13,700	16,900	13,700	仙台駅まで タクシー・電車で約60分
	55	L a 楽リゾートホテルグリーングリーン	和洋室2名定員	8,300	8,300	9,900	9,900	仙台駅まで タクシー・電車で約50分
	56	岩沼屋	シングル	—	11,500	13,600	—	仙台駅まで タクシーで約40分
	57	篝火の湯緑水亭	和室1名利用	23,300	25,400	33,000	25,400	仙台駅まで タクシーで約40分
			和室2名利用	16,800	18,900	22,200	18,900	
	58	ホテルニュー水戸屋	ツイン	7,700	7,700	10,900	—	仙台駅まで タクシーで約40分
			ツイン1名利用	9,900	9,900	13,100	—	
			和室2名利用	14,200	14,200	16,400	—	
	59	秋保リゾートホテルクレセント	ツイン	8,300	8,300	12,600	12,600	仙台駅まで タクシーで約40分
			デラックスツイン	9,300	9,300	13,700	13,700	
			ダブル	14,700	14,700	23,240	23,240	
	60	秋保グランドホテル	和室2名定員	12,500	12,500	—	—	仙台駅まで タクシーで約40分
	61	ホテル華乃湯	和室2名定員	10,200	10,200	—	—	仙台駅まで タクシーで約40分
	62	奥州秋保温泉蘭亭	和室	22,300	22,300	—	22,300	仙台駅まで タクシーで約40分
			シングル	11,500	11,500	11,500	11,500	
			ツイン	11,500	11,500	11,500	11,500	
			ツイン1名利用	16,900	16,900	16,900	16,900	
	63	ホテルきよ水	和室2名利用	18,050	18,050	20,650	18,050	仙台駅まで タクシーで約40分
県外	64	ホテルキャッスル	シングル	8,700	8,700	8,700	8,700	仙台駅まで 徒歩・高速バスにて約65分
			ツイン	7,600	7,600	7,600	7,600	
			ツイン1名利用	11,400	11,400	11,400	11,400	
	65	山形七日町ワシントンホテル	シングル	8,500	8,500	9,800	9,800	仙台駅まで タクシー・高速バスにて約65分
			ツイン	7,400	7,400	—	—	
			ツイン1名利用	10,800	10,800	—	—	
	66	山形グランドホテル	シングル	11,800	11,800	11,800	11,800	仙台駅まで タクシー・高速バスにて約65分
			ツイン	10,600	10,600	10,600	10,600	
			ツイン1名利用	15,900	15,900	15,900	15,900	
	67	ホテルメトロポリタン山形	シングル	11,900	11,900	11,900	11,900	仙台駅まで 徒歩・高速バスにて約65分
			ツイン	9,800	9,800	9,800	9,800	
			ツイン1名利用	15,700	15,700	15,700	15,700	
	68	山形駅西口ワシントンホテル	シングル	8,100	8,100	8,100	8,100	仙台駅まで 高速バスにて約65分
	69	山形国際ホテル	シングル	9,200	9,200	9,200	9,200	仙台駅まで タクシー・高速バスにて約65分
			ツイン	8,100	8,100	8,100	8,100	
			ツイン1名利用	12,500	12,500	12,500	12,500	
	70	▲ホテルルートイン山形駅前	シングル	7,800	7,800	7,800	7,800	仙台駅まで 徒歩・高速バスにて約65分
			ツイン	7,000	7,000	7,000	7,000	
	71	ホテル辰巳屋	シングル	9,700	9,700	9,700	9,700	仙台駅まで 新幹線・徒歩にて約30分
	72	福島リッチホテル	シングル	9,100	9,100	9,100	9,100	仙台駅まで 新幹線・徒歩にて約30分
	73	ホテルサンルート福島	シングル	8,100	8,100	8,100	8,100	仙台駅まで 徒歩・新幹線にて約40分
			ツイン	7,100	7,100	7,100	7,100	

◆仙台駅から仙台国際センターへは地下鉄東西線で乗車約5分です。

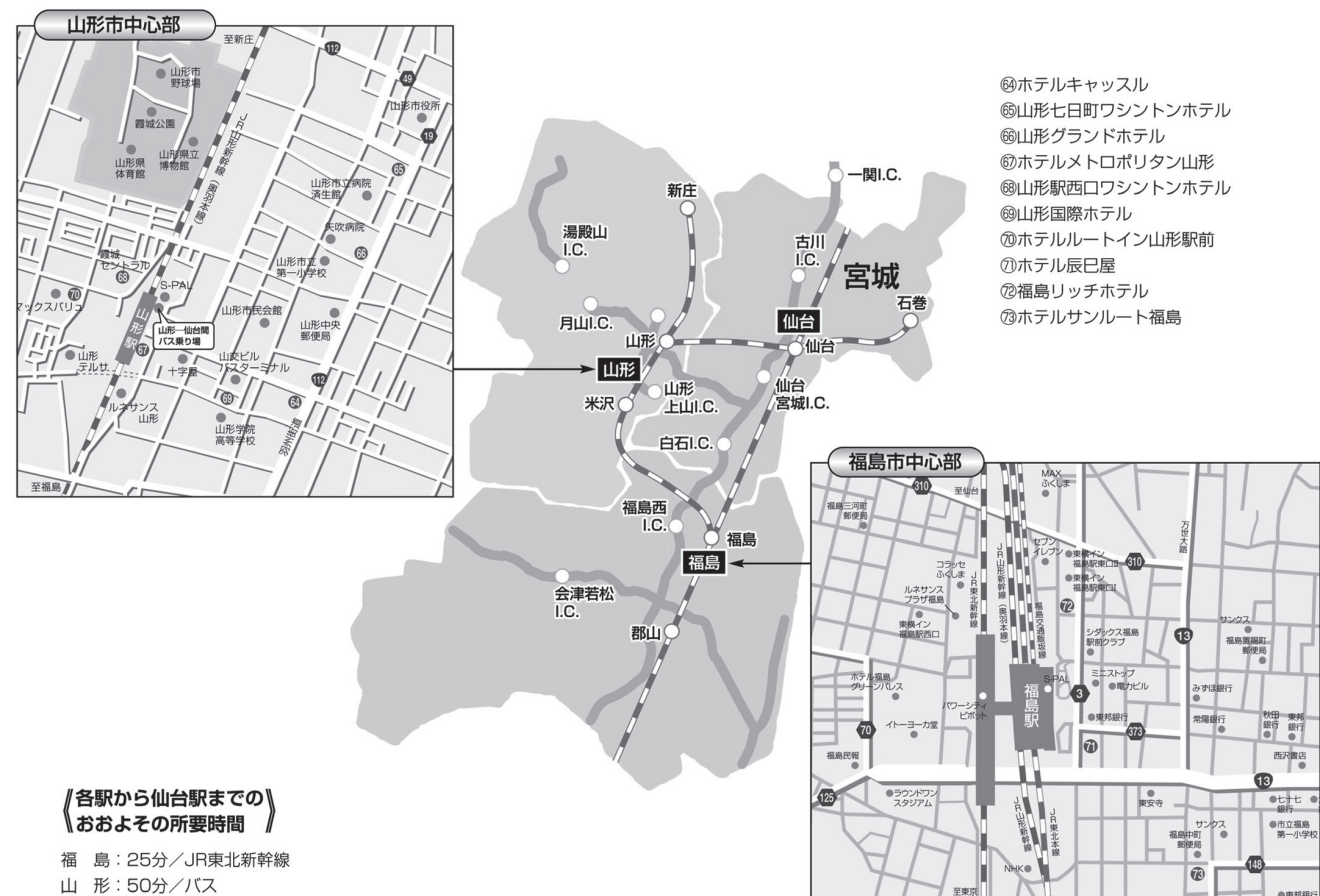
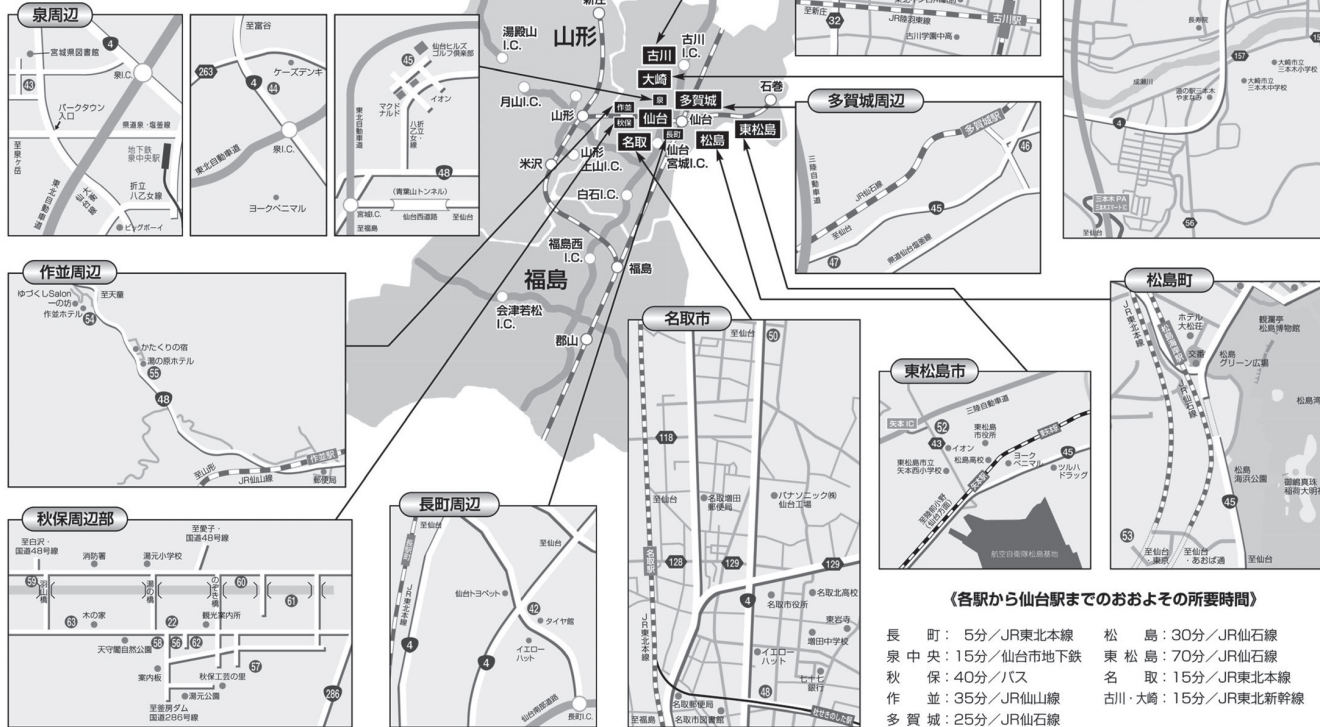
※ホテル一覧の中で●は食事なし、▲は無料の軽朝食サービス付となります。



＜ホテル名＞

- | | | |
|-------------------------|--------------------|------------------|
| ① アークホテル仙台青葉通り | ⑩ 青葉の湯ドリーミン仙台ANNEX | ③① ホテルモンテエルマーナ仙台 |
| ② ホテルパールシティ仙台 | ⑪ ホテルフォーリッジ仙台 | ③② ホテルJALシティ仙台 |
| ③ ホテルベルエア仙台 | ⑫ ホテルユニサイト仙台 | ③③ リッチモンドホテル仙台 |
| ④ ホテルグランテラス仙台南分町 | ⑬ ホテルセントラル仙台 | ③④ ロイヤルメイフラワー仙台 |
| ⑤ ホテルプレミアムグリーンソプリ | ⑭ ユニゾイン仙台 | ③⑤ ダイワロイネットホテル仙台 |
| ⑥ スマイルホテル仙台南分町 | ⑮ ホテルグリーンマーク | ③⑥ ホテルレオパレス仙台 |
| ⑦ 仙台リッチホテル国分町 | ⑯ ホテルモントレ仙台 | ③⑦ ANAホリデー・イン仙台 |
| ⑧ 江陽グランドホテル | ⑰ 仙台ワシントンホテル | ③⑧ コンフォートホテル仙台東口 |
| ⑨ 三井ガーデンホテル仙台 | ⑱ ホテルメトロポリタン仙台 | ③⑨ ホテルメルパルク仙台 |
| ⑩ ホテルプレミアムグリーンヒルズ | ⑲ アパヴィラホテル＜仙台駅五橋＞ | ④① 東横INN仙台駅西口中央 |
| ⑪ ホテルクラウンヒルズ仙台青葉通り | ⑳ 仙台ビジネスホテル | ④② 東横INN仙台西口広瀬通 |
| ⑫ ウェスティンホテル仙台 | ㉑ ホテルグリーンセレクト | |
| ⑬ 仙台国際ホテル | ㉒ ホテル法華クラブ仙台 | |
| ⑭ 杜の湯ドリーミンEXPRESS 仙台広瀬通 | ㉓ 第一インパーク | |
| ⑮ ホテルプレミアムグリーンプラス | ㉔ ホテルグリーンパシフィック | |

- ② ホテルルートイン仙台長町インター
- ③ 仙台ロイヤルパークホテル
- ④ ホテルルートイン仙台泉インター
- ⑤ ベストウェスタンホテル仙台
- ⑥ ホテルルートイン多賀城駅東
- ⑦ ホテルルートイン仙台多賀城
- ⑧ ホテルルートイン名取
- ⑨ ホテルルートイン古川駅前
- ⑩ バリユー・ザ・ホテル仙台名取
- ⑪ バリユー・ザ・ホテル三本木
- ⑫ バリユー・ザ・ホテル矢本
- ⑬ ホテル大観荘
- ⑭ 藤泉閣岩松旅館
- ⑮ La楽リゾートホテル・グリーングリーン
- ⑯ 岩沼屋
- ⑰ 篝火の湯緑水亭
- ⑱ ホテルニュー水戸屋
- ⑲ 秋保リゾートホテルクレセント
- ⑳ 秋保グランドホテル
- ㉑ ホテル華乃湯
- ㉒ 奥州秋保温泉蘭亭
- ㉓ ホテルきよ水



個人情報保護の観点から、申込書を FAX する際は番号の押し間違いにご注意頂き、送信後はお手数ですが着信確認をお願い致します。

JTB 受付 月 日 (No.)

お申込締切日 : 2016 年 2 月 28 日 (日)

第 80 回日本循環器学会学術集会
宿泊プラン申込書

FAX : 0120-937-224

基本情報登録

☐ Prof. ☐ Dr. ☐ Mr. ☐ Ms. (ふりがな) () お申込者氏名		
ご所属機関名		役職
ご連絡先住所 ☐ 勤務先 ☐ 自宅 〒 -		
TEL	FAX	E-mail
☐ Prof. ☐ Dr. ☐ Mr. ☐ Ms. (ふりがな) (フリガナ:) 同伴者氏名		

宿泊申込

第 1 希望ホテル名もしくは記号	第 2 希望ホテル名もしくは記号	第 3 希望ホテル名もしくは記号
ご希望部屋タイプ ☐ シングル ☐ ツイン ☐ ツイン(ダブル)のシングルユース □の欄にチェック下さい		
ご宿泊日 ☐ 3/17(木) ☐ 3/18(金) ☐ 3/19(土) ☐ 3/20(日) ☐ (その他 /)		

※ ツインルームをご希望の方は必ずご同伴者氏名をご記入ください。

お支払い方法

1. 銀行振込(費用明細書等を送信致します)
※振込手数料はお客様負担でお願い申し上げます。
2. クレジットカード
クレジットカードでのお支払をご希望の方は下記お問合せ先にお電話でご連絡ください。
※カード会員ご本人様のご利用に限ります。お支払回数は 1 回のみとなります。

ご要望自由記入欄

--

お問合せ・お申込

㈱ JTB ビジネスネットワーク JTB 東北 E C デスク「第 80 回日本循環器学会学術集会」係

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 7 階

TEL : 0120-989-960 (フリーダイヤル) FAX 0120-937-224 e-mail: jcs80@jbn.jtb.jp

[営業時間] 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分 (土・日・祝日休業)

ご旅行条件書 要約（募集型企画旅行契約）

お申し込みの際には、必ず旅行条件書（全文）をご確認いただき、事前に内容をご確認の上お申し込みください。

旅行条件書（全文）はこちらよりご確認ください。【<http://www.jtb.co.jp/operate/jyoken/acedom.asp>】

●**募集型企画旅行契約** / この旅行は（株）JTB東北 地域交流・MICE 事業部（仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル4階 以下「当社」という）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」という）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途ご確認いただく旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする宿泊確認書と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●**旅行のお申し込み及び契約成立時期** / （1）所定の申込書に所定の事項を記入し、お申し込みください。（2）旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。但し、本契約に関しましては、後日送付する請求書に基づく旅行代金のお振込が完了した時点で、旅行契約が成立したものとします。

●**旅行代金のお支払い** / 旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって13日目にあたる日より前（もしくは当社が指定する期日までに）にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

●**取消料** / 旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記に記載の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日		取消料（お1人様）
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	1. 21日目にあたる日以前の解除	無料
	2. 20日目にあたる日以降8日目にあたる日までの解除	旅行代金の20%
	3. 7日目にあたる日以降の解除	旅行代金の30%
	4. 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%
	5. 当日の解除（6を除く）	旅行代金の50%
	6. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

●**旅行代金に含まれるもの** / 日程表に明示した、宿泊代、朝食代、サービス料及び消費税等諸税。これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。（ご案内に含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません。）

●**特別補償** / 当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。・死亡補償金：1500万円・入院見舞金：2～20万円・通院見舞金：1～5万円・携行品損害補償金：お客様1名につき～15万円（但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。）身体外部から有毒ガス又は有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収又は摂取したときに急激に生ずる中毒症状（継続的に吸入、吸収又は摂取した結果生ずる中毒症状を除きます。）を含みます。ただし、細菌性食物中毒は含みません。＜免責事項＞

●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員（以下「会員」といいます。）より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと（以下「通信契約」といいます。）を条件にお申し込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。

（受託旅行者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行者により異なります。）

（1）契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき（e-mail等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様の到達したとき）とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。

（2）「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。（但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して7日間以内をカード利用日として払い戻します。）

（3）与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

●**国内旅行保険への加入について** / 旅行先において、けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の国内旅行保険に加入することをお勧めします。詳細については、お問合せください。

●**事故等のお申し出について** / 旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込個所にご通知ください。（もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。）

●**旅行条件・旅行代金の基準** / この旅行条件は2015年11月1日現在を基準としています。又、旅行代金は2015年11月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第1573号

株式会社JTB東北 地域交流・MICE 事業部

日本旅行業協会正会員

〒980-0804 仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル4階

循環器専門医制度

専門医制度委員会

2016年度循環器専門医資格認定審査受験予定の方へ： AHA トレーニングコース早期受講のお勧め

2015年10月に発表されました国際的な蘇生ガイドラインの改訂(ガイドライン2015)にともない、循環器専門医資格認定審査の受験資格となる AHA トレーニングコースの変更を予定しております。蘇生ガイドラインは5年に1度改訂を行っており、AHA トレーニングコースはこの蘇生ガイドラインに準拠して世界共通で行われております。それにともない、新ガイドラインに準拠したコースへの移行期である2016年前期にはコースの開催数が減少することが予想されます。

ガイドライン2015が発表された2015年10月から、AHA が実施するロールアウト(トレーニングコースの変更内容説明：2016年2月末開催予定)が終了するまでは、ガイドライン2010に準じたコースを開催する予定です。ガイドライン変更にとともに、新ガイドラインに準拠したコース開催や日本語テキストの出版を待つため、その期間は受講希望者が減少し、コース開催を中止せざるを得なくなります。

以上のことから、2015年秋から2016年夏までの期間に渡り、受講者が減少すると考えており、コースの開催減少・中止が想定されております。上記の状況を踏まえて、2016年度循環器専門医資格認定審査を受験予定の会員の方々には、来年2月まで旧ガイドラインによるコース開催をできるだけ提供致しますが、早期にコースを受講いただくことをお勧めいたします。

●問い合わせ先：日本循環器学会 JCS-ITC 担当
E-mail：itc@j-circ.or.jp

2016年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について

I. 審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

II. 受験資格

1. 次の5項を充足していること.

- 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること.
- 2) 受験年度の4月1日現在、認定内科医／総合内科専門医／外科学会認定登録医／外科専門医／小児科専門医、いずれかの資格を取得していること.
- 3) 本学会正会員であり、通算して6年以上の正会員歴を有すること(※1).
- 4) 医師免許取得後、専門医試験日前日をもって満6年以上の臨床研修歴を有すること(※2). 6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設で研修していること(※3).
2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは、基本領域資格取得後、専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設で研修していること(※3, ※4).
- 5) 「AHA ACLS プロバイダーコース」「AHA ACLS-EP コース」「AHA ACLS インストラクターコース」「AHA ACLS-EP インストラクターコース」のいずれかを受講し、受験年度の4月1日現在有効な認定を受けていること. また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダーコース」「AHA PALS インストラクターコース」も同等資格として認める.

2. 審査料(※5)および年会費を2016年6月末までに完納していること.

3. 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること.

4. 試験の合格後、専門医名簿への公開に同意すること.

※1 2016年4月1日現在6年目で可. 2012年度以降の入会者は受験できません.

※2 2003年度以前に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションを含む.

※3 研修関連施設での研修期間は1/2に換算されます.

※4 2013年9月以降の基本領域資格取得者は満3年以上の研修歴が満たないため、今回受験できません.

※5 払込用紙は5月上旬に送付の予定です.

III. 申請方法

以下の書類を事務局まで郵送してください. ①～⑤はWEBを介して作成し、印刷して提出してください. ⑥はWEB上よりダウンロードして必要事項を記入して提出してください. ⑦～⑧はコピーを提出してください.

(①～⑧まで全ての書類を同封してお送りください)

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
- ③ 診療実績表(B)研修記録
- ④ 診療実績表(C)手術所見, (D)外科手術記録, (E)剖検記録のいずれか
- ⑤ 研修(研修関連)施設在籍証明書
- ⑥ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ⑦ 基本領域の資格証書のコピー
- ⑧ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」、また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

IV. 日 程

日 程	内 容
1月25日～3月31日	受験申請・申請書類作成期間(※1) <u>この期間以後の新規受験申請は受付不可</u>
4月1日～4月10日 消印有効	申請書類提出期間(※2)
5月上旬	審査料払込用紙送付(※3)
5月～7月中旬	申請書類審査期間
7月下旬	書類審査結果通知(※4)
8月21日	筆記試験施行(※5) 東京国際フォーラム, 梅田スカイビル
10月下旬	合否通知

- ※1 受験者がWEBを介して受験申請・申請書類を作成する期間。
 ※2 受験者が申請書類を事務局へ送付する期間。
 この期間以後に到着した書類は一切受け付け致しません。
 なお、提出された書類の確認は申請書類提出期間以降に行います。
 提出された書類は返却いたしませんので、必ず控えをとってお送りください。
 (書類審査不合格の場合は、「研修カリキュラム達成度評価表」のみ返却致します。)
 ※3 事務局から審査料払込用紙を送付します。審査料は20,000円です。
 ※4 書類審査不合格の場合は、責任者にも判定理由を通知します。
 ※5 試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます。

V. 認定について

- 試験の合格後、専門医認定申請の手続きをご案内致します。
- 認定料は30,000円です。

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます。

専門医認定更新の手続きについて

更新案内

認定 4 年目 8 月中旬 「単位取得状況通知書」のお届け

認定 5 年目 10 月下旬 「循環器専門医認定更新のご案内」のお届け

更新条件

- 1 「更新」の意思表示をしていること
- 2 基本領域の資格を取得していること
- 3 更新に必要な単位を取得していること
(更新に必要な単位数は所定単位表をご確認ください。)
- 4 更新年度までの年会費を納入していること
- 5 認定更新料を納入していること

学術集会・地方会での専門医研修単位登録について

- 学術集会・地方会での更新に必要な研修単位の取得方法は「専門医カード」または「単位登録票」によるものです。
- 学術集会・地方会当日、会場の各専門医研修単位登録受付にて先生ご自身でのご登録のお手続きが必要です。
- 会期中に登録を忘れた場合、会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付致しません。

循環器専門医認定更新のご案内

2016年4月1日に循環器専門医資格認定更新となる循環器専門医へ、2015年10月下旬に「循環器専門医認定更新のご案内」を郵送しております。

お手数ですが、こちらのご案内をご確認の上対応をお願い致します。（郵送のご案内と同内容です）

認定更新の条件および手続き

	更新条件	手 続 き	対応期日
1	「更新(または辞退)」の意思表示	「認定更新 Web 申請」画面からご申請ください	
2	基本領域の資格を取得していること (2016年4月1日時点で有効であること) 〈基本領域資格〉 ・内科系 認定内科医, 総合内科専門医 ・小児科系 小児科専門医 ・外科系 外科専門医, 外科認定登録医	「認定更新 Web 申請」画面の URL は本頁内に記載しています。(学会 HP からアクセス頂けます) 「認定更新 Web 申請」画面に『専門医更新 Web 申請の手引き』を掲載しています。確認しながら手続きを行ってください。	更新に必要な単位を取得されていない場合も先にこちらのお手続きをお済ませ下さい。 2015年11月19日(木)中
3	更新に必要な単位の取得 〈必要単位数〉 次頁の所定単位表をご参照ください。 なお、所定単位表の別表Ⅰ～Ⅵは学会ホームページ内(専門医→◆規定・規則)に掲載しております。	9月末までの単位取得状況を郵送書類でご確認頂けます。 10月以降は、学会ホームページ(専門医→「専門医単位照会」)よりご確認ください。 - 更新に必要な単位の不足分を「自己申告」で取得される場合は「認定更新 Web 申請」画面からご申請頂けます。	2016年3月31日(木)中
4	更新年度(2015年度)までの年会費の納入	- 納入状況は「認定更新 Web 申請」画面でご確認頂けます。 - 未納のため、振替用紙が必要な場合は下記【お問合せ先】Email までご請求ください。	
5	認定更新料(30,000円)の納入	条件1～4を満たされた先生から更新料振替用紙を12月中旬以降順次発送させて頂きます。 郵便局よりお振り込みください。	振替用紙送付時にご案内します。

辞退する場合も「認定更新 Web 申請」画面から辞退申請の手続きを行ってください。

認定更新 Web 申請 URL : http://www.j-circ.or.jp/information/senmoni/web_shinsei.htm

その他

- (1)認定期間終了時まで更新条件を充足していない場合、専門医資格は喪失となります。
- (2)証書発送は、上記の更新条件を充足した方から、順次発送を致します。(3月中旬以降予定)
- (3)更新後の認定期間は2016年4月1日～2021年3月31日となります。

【お問合せ先】 一般社団法人 日本循環器学会 事務局
E-mail : senmoni@j-circ.or.jp (専門医制度委員会 担当)
TEL: 03-5501-0864 FAX: 03-5501-9855

〈WEB 申請が難しい場合〉

手続き方法をご案内致しますので、以下に必要な事項をご記入の上、FAX にて本用紙を事務局まで至急お送りください。

お名前 : _____ (会員 NO. _____)

ご住所 : 〒 _____ (TEL : _____)

循環器専門医認定更新
所 定 単 位 表

一般社団法人 日本循環器学会

以下の方法にて5年間に**必修研修単位を含む50単位**を取得することにより、循環器専門医の認定更新を行う。

★印については必修研修とし、認定期間内に30単位を必ず取得のこと。★内での組み合わせは自由。

☆印については必修研修とし、認定期間内に最低1回(2単位)は受講すること。

登録方法	対 象 者	必修	単位加算対象	単 位 数
専門医 単位登録 カード	参加者	★	日本循環器学会 学術集会	10
		★	〃 教育セッション	5
		☆	〃 医療安全・医療倫理に関する講演会※1	2
		★	日本循環器学会 地方会	5
		★	〃 地方会教育セッション	3
事務局 登録	筆頭著者		「Circ J」掲載論文(CL・EX・RC・ICMのみ)	10
	参画者		本会が推奨する臨床研究プロジェクト※2	2～4
			本会が実施するプログラム	◎
	自己研修		本会が実施する教育プログラム CD-ROM/DVD/ビデオ※3	3
			本会が実施する教育研修 e-ラーニング※4	1
自己 申告	参加者		循環器関連学会 年次学術集会 【次項参照】	3
			関連学会 年次学術集会 【次項参照】	1
			本会指定国内学術集会・学術講演会	1
			本会指定国外学術集会・学術講演会	2
			日本医学会総会※5	5
			WCC・AHA・ACC・APSC※6・ESC	2
			その他の海外循環器関連学会集会	1
	筆頭著者		本会指定の循環器関連学会学術誌 掲載論文(英文)	5
			〃 (和文)	3
			本会指定以外の循環器関連学術誌 掲載論文(英文)	3
			〃 (和文)	1
	留学者		留学(連続して10ヶ月以上の場合のみ)	1×月数

《単位登録方法について》

専門医カード：学会当日会場において専門医カードを持参・提示することにより単位を取得する。

単位登録票：学会当日会場において、単位登録票に記入し提出することにより単位を取得する。

事務局登録：上記該当者は自動的に単位が加算される。

自己申告：単位不足の場合、自己申告期間(認定5年目)に所定の自己申告書にて不足単位を申告する。但し、留学・研究プロジェクトについては『認定更新に関する規程』参照。

※1 医療安全・医療倫理に関する研修については、ホームページ上での視聴研修あるいは地方会でのDVDセッションでも可。ただし、同じ講演内容については、重複して単位は加算されない。

※2 詳細については「大規模臨床試験プロジェクト」単位付与規程に基づき専門医制度委員会で決定する。

※3 発売から約2年間のみが単位付与対象となる。各視聴教材に同封の単位申請ハガキに記載されている単位申請有効期限を確認すること。

※4 視聴と設問正解を以って単位付与とする。

ただし、認定期間5年間で最大15単位。同じ内容については、重複して単位は加算されない。

※5 東北地方太平洋沖地震を受けて中止となった第28回日本医学会総会についても研修単位の対象とする。自己申告の際は参加予定だったことが公的に証明できる書類の提出が必要。

※6 APCCについては2009年開催(京都)に限り5単位とする。その他の開催については通常通り2単位。

◎印の単位数は委員会判断とする。

1. 日本循環器学会地方会

単位数：地方会 5 単位／教育セッション 3 単位／医療安全 2 単位

単位登録方法：専門医カード、単位登録票方式

開催当日会場において専門医カードを持参・提示する。

もしくは、単位登録票に記入し提出する。

いずれも、必ず所定の受付場所ですら所定時間内に行うこと。

※医療安全セッションの開催有無は各地方会により異なります。各支部へ直接お問合せください。

※地方会、教育セッション、医療安全は各受付場所・時間にてそれぞれ登録が必要です。

※プログラム集、参加証等他の書類での事後申請は認められません。

2. 循環器関連学会・関連学会・国際学会等

単位登録方法：自己申告方式

認定期間 5 年目の認定更新手続き期間中に自己申告書と併せてネームカード(コピー)を提出する。

※プログラム集、参加証等他の書類での申請は認められません。

(1) 関連学会

単位数：3 単位

対象学会

- ：日本心臓病学会 日本脈管学会
- 日本高血圧学会 日本心臓血管外科学会
- 日本不整脈学会 日本小児循環器学会
- 日本心電学会 日本動脈硬化学会
- 日本胸部外科学会 日本冠疾患学会
- 日本心不全学会 日本心血管インターベンション治療学会
- 日本循環器管理研究協議会・日本循環器病予防学会
- 日本心臓リハビリテーション学会
- 日本成人先天性心疾患学会(第17回以降 3 単位・第16回は 1 単位・第15回以前は単位加算無し)

(2) 関連学会

単位数：1 単位

対象学会

- ：日本内科学会 日本外科学会
- 日本小児科学会 日本腎臓学会
- 日本老年医学会 日本生体医工学会
- 日本超音波医学会 日本核医学会
- 日本医学放射線学会 日本循環制御医学会
- 日本心臓核医学会 日本生理学会
- 日本臨床生理学会 日本集中治療医学会
- 日本睡眠学会(第35回以降 1 単位・第34回以前は単位加算無し)
- 日本心エコー図学会(第26回以降 1 単位・第25回以前は単位加算無し)
- 日本心脈管作動物質学会(第44回以降 1 単位・第43回以前は単位加算無し)
- 日本心血管脳卒中学会(第 2 回以降 1 単位・第 1 回以前は単位加算無し)
- 日本下肢救済・足病学会(第 7 回以降 1 単位・第 6 回以前は単位加算無し)

(3) 国際学会等

単位数：2 単位

対象学会：WCC・AHA・ACC・APSC・ESC

専門医認定更新研修の必修化について

専門医制度委員会、理事会、2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。変更点は下記のとおりです。

専門医認定更新に必要な研修単位(50単位)のうち、必修研修の単位配分は下記のとおりとなります。
認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

【必修研修と単位数】

① 最新医療の知識習得に関する研修……30単位

日本循環器学会主催の学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含んでもよい)への参加にて単位を取得してください。

② 医療安全・医療倫理に関する研修……2単位

学術集会および地方会(※1)開催時の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加あるいはインターネット(※2)での視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

※1 各地方会での開催につきましてはDVDセッションとなり同じ講演を既に聴講されている場合には単位は重複して加算されません。

開催状況につきましては各地方会により異なります。事前に必ずご確認ください。

※2 インターネットでの視聴研修につきましては、下記からご覧いただけます。視聴にはID(会員番号)とパスワードが必要です。パスワードをお忘れの場合は下記ホームページから再発行可能です。

日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp>)



循環器専門医制度



〔専門医専用〕医療安全 Web 研修

【留学による特別措置】

※1)2)については、留学期間が連続して10ヶ月以上の者を対象とする。

1) 留学期間中の海外学会参加研修単位について

留学により、日本循環器学会主催の学術集会・地方会に参加できなかった場合は、その留学期間中に開催された海外学会(WCC, AHA, ACC, APSC, ESC)への参加を、最新医療の知識習得に関する研修を行ったとして必修研修単位15単位を付与します。ただし、上記5学会の内1年間に複数参加しても、1年度につき1回分の研修単位のみしか認められません。

例) 2012年度(2012/4/1~2013/3/31)にAHAとACCに参加した場合は、どちらか一方の参加のみ「最新医療の知識習得に関する研修」15単位として認める。

申請方法は帰国後、2)に必要な留学単位申請書および在籍証明書に上記の海外学会参加証(ネームカード)コピーを同封してください。抄録集のコピーは不可。

2) 留学期間の研修単位について

留学単位は必修研修以外の区分として1ヶ月1単位を加算します。

※帰国後、単位申請書および在籍証明書のコピーを提出すること。

3) 認定更新日経過の場合について

更新日(各年度4月1日)を超えて留学中の場合は、取得単位に関わらず、所定の更新手続きを行えば更新することができます。

循環器専門医認定更新の必修研修および単位につきましてご質問などございましたら下記連絡先までお問合せください。

問い合わせ先：

一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)

専門医制度委員会 担当

E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

(一社) 日本循環器学会専門医制度委員会

循環器専門医カード再発行申請書

(一社) 日本循環器学会

代表理事 殿

標記のカードを紛失致しましたので、下記のとおり再発行を申請致します。

なお、紛失したカードが発見された時には、速やかに学会に届け出を致します。

太枠内はもれなく記入してください

年 月 日

申請者氏名：

会員番号：(6桁)

生年月日：

(西暦) 19 年 月 日

事務局への連絡事項：

※事務手続きの都合上、発行（発送）時期は年3回となります。

①12月末申込締切 2月末発行 ②3月末申込締切 5月上旬発行 ③7月末申込締切 9月上旬発行

※手続きには再発行料（¥3,240（税込））が必要です。申請書到着後、請求書を送付致します。

カード発行は、ご入金後となりますのでご了承くださいますようお願い申し上げます。

※万一、請求書送付から1ヶ月経過してもご入金確認ができない場合は、本件申込みは失効することと致します。

※再発行料請求書及び循環器専門医カードは送本先へ送付致します。

※事務局記入欄

申請受付日	請求書送付	入金確認	送付

(一社)日本循環器学会事務局 TEL (03)5501-0864 FAX (03)5501-9855

地方会・関連学会・研究会情報

【お願い】

各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

日本循環器学会地方会情報

《地方会当日会場での単位登録のみ受付》

第115回北海道地方会

会 期：2016年6月25日(土)
会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会 長：筒井裕之(北海道大学大学院循環病態内科学分野)

第239回関東甲信越地方会

会 期：2016年2月6日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会 長：山下武志(心臓血管研究所附属病院)

第240回関東甲信越地方会

会 期：2016年6月4日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会 長：池ノ内浩(日本赤十字社医療センター循環器内科)

第121回近畿地方会

会 期：2016年7月16日(土)
会 場：国立京都国際会館(京都市)

会 長：夜久 均(京都府立医科大学外科学教室)

第122回近畿地方会

会 期：2016年11月26日(土)
会 場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)
会 長：塩島一朗(関西医科大学内科学第二講座)

第109回中国地方会

会 期：2016年12月3日(土)
会 場：川崎医療福祉大学(岡山県倉敷市)
会 長：上村史朗(川崎医科大学循環器内科学)

第108回中国・四国合同地方会

会 期：2016年6月10日(金)、11日(土)
会 場：くびきメッセ(島根県松江市)
会 長：中澤芳夫(島根県済生会江津総合病院)

海外学会情報

ACC Annual Scientific Session 2016

会 期：2016年4月2日(土)～4日(月)
開催地：Chicago(U.S.A)
URL：http://accscientificsession.acc.org/ACC.aspx?w_nav=UN

URL：<http://www.escardio.org/Congresses-&-Events/Upcoming-congresses/ESC-Congress/Next-congress/ESC-Congress-2016>

ESC Congress 2016

会 期：2016年8月27日(土)～31日(水)
開催地：Roma(Italy)

AHA Scientific Sessions 2016

会 期：2016年11月12日(土)～16日(水)
開催地：Neworleans(U.S.A)
URL：未定

その他の学会開催情報

近畿心血管治療ジョイントライブ(KCJL) 2016

会 期：2016年4月21日(木)～23日(土)
会 場：メルパルク京都
当番世話人：西田育功(高槻会高井病院)
問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E
KCJL 事務局
Tel. 0532-57-1278 Fax. 0532-52-2883
E-mail: kcjl@kcjl.gr.jp

URL: <http://www.kcjl.gr.jp/>

研究助成

日本心臓財団・フィリップス心不全陽圧治療研究奨励賞

対象：循環器領域における睡眠呼吸障害に関する研究
研究奨励金額および件数：

論文賞 1 件(表彰状および副賞50万円)

発表賞 2 件(1 件につき表彰状および副賞25万円)

応募資格：

- 1) 40歳未満の者(1975年 4 月 1 日以降に生まれた者)
- 2) 原則として日本国内の研究施設に所属する者
- 3) 研究論文：下記の応募期間に英字誌に掲載された循環器領域における睡眠呼吸障害に関する研究の原著論文

研究発表：2015年 1 月 1 日～2015年12月31日の期間に
海外の学会で発表された循環器領域における睡眠呼吸障害に関する研究もしくは、海外の学会発表を目的とした研究

応募方法：応募用紙(財団 HP よりダウンロード)に必要事項を記載し、論文別刷または発表内容を添付の上、財団事務局宛に E メール添付(郵送でも可)。

応募期間：2015年 4 月 1 日～12月31日

問合せ先：〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4F

公益財団法人日本心臓財団事務局

Tel. 03-5324-0810 Fax. 03-5324-0822

E-mail: shinsei@jhf.or.jp

応募方法：財団所定の申請書に記載し、書留で事務局宛に送付

問合せ先：〒113-8570 東京都文京区湯島2-31-20 フクダ電子(株)春木町ビル内

公益財団法人福田記念医療技術振興財団事務局

Tel. 03-5684-0288 Fax. 03-5684-0268

URL: <http://www.fukudakinen.or.jp>

公益財団法人福田記念医療技術振興財団第27回(平成28年度)研究助成等募集

(公財)福田記念医療技術振興財団では、ME を利用した医療技術に関する研究助成を行っており、4 月 1 日より次のとおり募集を行う。

公募事業：

①研究助成

- 1) 個人研究：100万円／件を限度に計 6 件
- 2) 共同研究：200万円／件を限度に計 5 件

②国際交流助成

- 1) 研究留学：100万円／件を限度に計 4 件
- 2) 国際会議出席：30万円／件を限度に計 4 件
- 3) 海外からの研究者招聘：100万円／件を限度に計 4 件

③論文表彰(副賞50万円)：2 件

応募締切(当日消印有効)：

①については2016年 4 月26日

②については前期分2016年 4 月26日、後期分2016年12月31日

(注) 国際交流前期分は、出発が2016年 7 月 1 日から2017年 2 月28日までの募集

③については2016年12月31日

ACLS 講習会情報

AHA ACLS プロバイダーコース受講のためには AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要です。未受講の方は、まずはこのコースを受講してください。詳しくはホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) の「BLS・ACLS 講習会情報」をご参照ください。

日本循環器学会は2007年3月に、AHAと契約して国際トレーニングセンター(ITC)となり、循環器救急医療委員会(旧称：心肺蘇生法委員会)の中の教育部門としてECC(緊急心血管治療)プログラムを独自に推進させていく事になり、JCS-ITCコースとして各支部において開催致します。

私たちは日本での心臓突然死の予防と心停止の救命率の改善およびそれによる後遺症を減らすことを目標に掲げます。それには地域での「救命の連鎖」の確立が重要となります。そのためには、会員すべてが心肺蘇生法トレーニングを受け、医師・コメディカル・一般市民への指導者になること、そして特に循環器専門医は標準的な二次救命処置(Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS)を習得し、循環器救急医療におけるチームリーダーになることが必要です。また、循環器専門医の受験資格にAHA-ACLS修了が必須となっています。このトレーニングコースは、アメリカ心臓協会(AHA)がこれまで築き上げてきたトレーニングプログラムを用いて実施されます。下記のコースに積極的に参加いただき、地域での「救命の連鎖」確立を推進していただける方を募集します。各コースの受講者募集の詳細は日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「ACLS 講習会情報」にてご確認ください。

【蘇生ガイドライン改訂にともなうコース減少についてのお知らせ】

2015年10月に発表されました国際的な蘇生ガイドラインの改訂に伴い、今年がガイドライン改訂の年度となります。AHAトレーニングコースはこの蘇生ガイドラインに準拠して世界共通で行われております。それとともない、新ガイドラインに準拠したコースへの移行期にはコースの開催数が減少することが予想されます。

ガイドライン2015が発表された2015年10月から、AHAが実施するロールアウト(トレーニングコースの変更内容説明：2016年2月末開催予定)が終了するまでは、ガイドライン2010に準じたコースを開催する予定です。ガイドライン変更に伴い、新ガイドラインに準拠したコース開催や日本語テキストの出版を待つため、その期間は受講希望者が減少し、コース開催を中止せざるを得なくなります。以上のことから、2015年秋から2016年夏までの期間に渡り、受講者が減少すると考えており、コースの開催減少・中止が想定されております。上記の状況を踏まえて、プロバイダー更新を予定している方は予定に余裕を持ってのご受講をお勧めするとともに、2016年度循環器専門医資格認定審査を受験予定の会員の方々も早めにコースをご受講いただくことをお勧めいたします。

【ACLS プロバイダーコース 2 日間を更新として受講される場合の受講料について】

AHA ではスキルや知識を維持するために、2 年ごとの更新をお勧めしています。

そのため ACLS プロバイダーコースでは更新コースを設定していますが、開催コース数が少ない、受講者が集まらずコースが中止されることもあり、更新希望者から、「コース数を増やしてほしい」などの要望をいただいております。

そこで、通常の ACLS プロバイダーコースで更新される場合には、今までは初回受講料(¥32,000)をお支払いいただいておりますが、2014/11/04より更新コース受講料と同額(¥18,000)に受講料を統一いたしました。

なお、通常の ACLS プロバイダーコースで更新受講される場合は 2 日間のコースを受講いただくこととなります(更新コースは 1 日間コースとなります)。

受講料につきましては、下記のとおりです。

	初回受講	更新受講
ACLS プロバイダーコース	¥32,000	¥18,000
ACLS プロバイダー更新コース	¥18,000	

* 初回受講 今回初めてコースを受講すること
* 更新受講 プロバイダー更新を希望して受講すること

●ACLS プロバイダーコース案内

受講料 (初回受講) 32,000円

受講料 (更新受講) 18,000円 ※受講要件は ACLS 更新コースと同様です。

受講対象者：原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者)。なお、臨床経験を有している方が望ましい内容が多く含まれていますので、医療従事者をめざしている学生(医学生、看護学生、薬学部学生など)の受講は原則として認めておりません。

受講申込方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締めきりは延長される場合がございますので、ホームページにてご確認ください。

JCS-ITC2015/12/26-27関東甲信越支部帝京大学板橋
キャンパス AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年12月26日(土)・27日(日)の2日間

会場：国立病院機構東京医療センター

受講募集人数：12名

コースディレクター：金子一郎

(帝京大学医学部救急医学講座)

12月6日(日)まで募集(延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS
講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2015/12/26-27近畿支部国立循環器病研究セ
ンター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年12月26日(土)・27日(日)の2日間

会場：国立循環器病研究センターリハビリ棟5F

受講募集人数：12名

コースディレクター：安本 均(大阪暁明館病院)

11月29日(日)まで募集(延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部 山口良彦

Phone: 075-212-2015/Fax: 075-212-0691

E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2015/12/26-27関東甲信越支部国立病院機構
東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年12月26日(土)・27日(日)の2日間

会場：国立病院機構東京医療センター

受講募集人数：15名

コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医
療センター循環器科)

12月2日(水)まで募集(延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS
講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

JCS-ITC2016/01/09-10東海・北陸支部合同名古屋医
療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月9日(土)・10日(日)の2日間

会場：名古屋医療センター

受講募集人数：18名

コースディレクター：鈴木秀一(名古屋医療センター)

12月18日(金)まで募集(延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一

Phone: 052-950-3365/Fax: 052-950-3370

E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2016/01/10東海・北陸支部合同名古屋医療センター AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日：2016年1月10日(日)

会 場：名古屋医療センター

受講募集人数：12名

コースディレクター：都築通孝(豊田厚生病院)

12月18日(金)まで募集(延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一

Phone: 052-950-3365/Fax: 052-950-3370

E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2016/01/09-10中国支部広島大学医学部 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月9日(土)・10日(日)の2日間

会 場：広島大学医学部基礎講義棟2階

(スキルスラボ・形態実習室)

受講募集人数：12名

コースディレクター：齋藤博則(岡山赤十字病院)

12月16日(水)まで募集(延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会中国支部事務局(山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学内) 岡部英美

Phone: 0836-22-2248/Fax: 0836-22-2246

E-mail: nichijun@yamaguchi-u.ac.jp

JCS-ITC2016/01/16-17近畿支部和歌山県立医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月16日(土)・17日(日)の2日間

会 場：和歌山県立医科大学高度医療人育成センター

2F 臨床技能研修センター(スキルスラボ)

受講募集人数：12名

コースディレクター：加藤正哉(和歌山県立医科大学)

11月30日(月)まで募集(募集延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部 山口良彦

Phone: 075-212-2015/Fax: 075-212-0691

E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2016/01/16-17関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月16日(土)・17日(日)の2日間

会 場：本郷マッシュアップスタジオ2F

受講募集人数：21名

コースディレクター：中山英人

(埼玉医科大学病院麻酔科)

2016年1月6日(水)まで募集(募集延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2016/01/16-17東北支部福島県立医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月16日(土)・17日(日)の2日間

会 場：福島県立医科大学附属病院会議室

受講募集人数：15名

コースディレクター：花田裕之(青森県立中央病院)

12月25日(金)まで募集(募集延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会東北支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

JCS-ITC2016/01/16-17関東甲信越支部相澤病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月16日(土)・17日(日)の2日間

会 場：相澤病院ヤマサホール

受講募集人数：18名

コースディレクター：宮澤 泉

(長野赤十字病院循環器科)

12月24日(木)まで募集(募集延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2016/01/16-17東海・北陸支部合同市立島田市民病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月16日(土)・17日(日)の2日間

会 場：市立島田市民病院

受講募集人数：12名

コースディレクター：岩嶋大介(市立島田市民病院)

12月16日(水)まで(集募集延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一

Phone: 052-950-3365/Fax: 052-950-3370

E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2016/01/23-24関東甲信越支部自治医科大学 20周年記念棟 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月23日(土)・24日(日)の2日間

会 場：自治医科大学20周年記念棟7F

シミュレーションセンター

受講募集人数：12名

コースディレクター：菊地 研

(獨協医科大学心臓・血管内科)

12月21日(月)まで募集(集募集延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会

事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2016/01/23-24北海道支部国立病院機構北海道医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月23日(土)・24日(日)の2日間
会 場：国立病院機構北海道医療センター5F
大会議室
受講募集人数：12名
コースディレクター：高橋 弘(製鉄記念室蘭病院)
2016年1月11日(月)まで募集(集募集延長の場合もあり)
問合せ：日本循環器学会北海道支部事務局(北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学内) 横式尚司

Phone: 011-706-6973/Fax: 011-706-7874

E-mail: hokucirc@med.hokudai.ac.jp

JCS-ITC2016/01/23-24九州支部熊本中央病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月23日(土)・24日(日)の2日間
会 場：熊本中央病院3F 講堂A・B
受講募集人数：12名
コースディレクター：平井信孝(熊本地域医療センター循環器内科)
12月20日(日)まで募集(集募集延長の場合もあり)
問合せ：熊本地域医療センター循環器内科 平井信孝
Phone: 096-363-3311/Fax: 096-362-0222
E-mail: nobutaka@krmc.or.jp

JCS-ITC2016/01/30-31関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月30日(土)・31日(日)の2日間
会 場：国立病院機構東京医療センター
受講募集人数：10名
コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)
2016年1月6日(水)まで募集(集募集延長の場合もあり)
問合せ：日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2016/01/30-31中国支部岡山赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月30日(土)・31日(日)の2日間
会 場：岡山赤十字病院研修室(センター棟4F)
受講募集人数：12名
コースディレクター：齋藤博則(岡山赤十字病院)
2016年1月13日(水)まで募集(集募集延長の場合もあり)
問合せ：日本循環器学会中国支部事務局(山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学内) 岡部英美
Phone: 0836-22-2248/Fax: 0836-22-2246
E-mail: nichijun@yamaguchi-u.ac.jp

JCS-ITC2016/01/30-31東北支部むつ総合病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年1月30日(土)・31日(日)の2日間
会 場：むつ総合病院3F 会議室
受講募集人数：15名
コースディレクター：花田裕之(青森県立中央病院)
2016年1月21日(木)まで募集(集募集延長の場合もあり)
問合せ：日本循環器学会東北支部 ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

JCS-ITC2016/02/13-14関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年2月13日(土)・14日(日)の2日間
会 場：国立病院機構東京医療センター
受講募集人数：10名
コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)
2016年1月20日(水)まで募集(集募集延長の場合もあり)
問合せ：日本循環器学会東北支部 ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

JCS-ITC2016/02/20-21関東甲信越支部獨協医科大学創立30周年記念館 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年2月13日(土)・14日(日)の2日間
会 場：獨協医科大学創立30周年記念館
受講募集人数：12名
コースディレクター：菊地 研
(獨協医科大学心臓・血管内科)
2016年1月25日(月)まで募集(集募集延長の場合もあり)
問合せ：日本循環器学会東北支部 ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

JCS-ITC2016/02/20-21関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2016年2月20日(土)・21日(日)の2日間
会 場：本郷マッシュアップスタジオ
受講募集人数：21名
コースディレクター：中山英人
(埼玉医科大学病院麻酔科)
2016年2月10日(水)まで募集(集募集延長の場合もあり)
問合せ：日本循環器学会東北支部 ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

●ACLS EP プロバイダー資格コース案内

コースの特徴：成人の心停止に対する二次救命処置を ACLS プロバイダーコースを学習した方が、さらにレベルアップするためのコースです。ACLS プロバイダーコースの知識・スキルを習得していることを前提として、心血管系エマージェンシー、心拍再開後ケア、臨床薬理および中毒学、呼吸および代謝のエマージェンシーにどう対応するかをディスカッション形式で学習していきます。

本コースを受講していただくことで、同時に ACLS プロバイダー資格を更新することができます。

受講料：18,000円

受講要件：1. 有効期限内の BLS ヘルスケアプロバイダーカードまたはインストラクターカードを有すること

2. 有効期限内の ACLS プロバイダーカードまたはインストラクターカードを有すること

追補1) 上記カード提示ができない場合は、受講当日であってもコースの受講をお断りすることがございますのでご注意ください。またカードを紛失している場合などは事前に各コースの責任者(コースディレクター)にご連絡ください。なお、受講希望者多数の場合には施設の重複を避けるなど、地域性も考慮して選考させていただきます。

対象者：原則として医療従事者：医師、救急集中治療の経験のある看護師など

追補1) ACLS プロバイダーとして実際の臨床経験を積んだ方で、心電図や病態の把握ができることが必要になります。

JCS-ITC2016/01/24関東甲信越支部本郷マッシュアップ
スタジオ AHA ACLS EP プロバイダーコース

開催日：2016年1月24日(日)

会場：本郷マッシュアップスタジオ2F

受講募集人数：18名

コースディレクター：中山英人

(埼玉医科大学病院麻酔科)

2016年1月13日(水)まで募集(募集延長の場合もあり)

問合せ：日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS

講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acsl-jcs.org

映像教材販売のご案内

教育研修映像販売のご案内

教育研修委員会

下記の教材1タイトルご購入につき、専門医研修単位が3単位加算されます。本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上、切手を貼ってご郵送ください。ただし、単位の付加は、ご購入ご本人のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき1回限りの受付となりますのでご了承ください。

※なお、単位申請ハガキの受付には期限があります。詳細は下記の各DVD単位申請期間をご確認ください。

ご購入の申し込みは、日循ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「刊行物購入のご案内」からオンラインでお受けしています。もしくはファックス(03-6368-9509)で、ご希望のタイトル、氏名、会員番号、お届け先住所、電話番号をお書き添えの上、お申込みください。

■循環器教育セッション

※DVD-ROMは家庭用DVDレコーダーでは再生できませんのでご注意ください

※座長所属はセッション開催時のもの。

第42回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2014年3月21日(金)～23日(日)

単位申請期日：2016年3月31日

セッションⅠ

1. 心房細動アブレーションの進歩

座長：沖重 薫（横浜市立みなと赤十字病院心臓病センター）
奥村 謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学講座）

2. 大動脈ステントグラフト

座長：吉川 公彦（奈良県立医科大学放射線科）
荻野 均（東京医科大学心臓血管外科）

3. ASD

座長：赤城 禎治（岡山大学病院循環器疾患集中治療部）
河村 朗夫（慶應義塾大学循環器内科）

セッションⅡ Structural Heart Disease に対するカテーテル治療の進歩

座長：高山 守正（榊原記念病院循環器内科）
新浪 博（埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科）

セッションⅢ 日常診療における他科との連携

円滑な循環器内科コンサルテーションを考える

座長：山科 章（東京医科大学第二内科）
前村 浩二（長崎大学循環病態制御内科学）

第43回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2015年4月24日(金)～26日(日)

単位申請期間：2017年3月31日

セッションⅠ

1. レーザーリード拔去

座長：庄田 守男（東京女子医科大学循環器内科学）

2. 末梢血管へのインターベンション治療

座長：安田 聡（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

3. 経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVR)

座長：小林順二郎（国立循環器病研究センター心臓血管外科）

セッションⅡ 重症安定狭心症への最善の冠血行再建を考える

座長：中川 義久（天理よろづ相談所病院循環器内科）
浅井 徹（滋賀医科大学心臓血管外科）

セッションⅢ 急性心不全・心不全増悪にどう対応するか—その標準治療は？

座長：志賀 剛（東京女子医科大学循環器内科）
佐藤 幸人（兵庫県立尼崎病院循環器内科）



購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

DVD 購入者は

WEBでも

ご視聴いただけます!

56セッション 333延べ座長・演者 67時間 20分収録

DVD 2枚組!

価格 **7,500円** (送料、税込)

<収録内容>

美甘レクチャー

1セッション

Testing the Inflammation Hypothesis of Atherothrombosis

真下記念講演

1セッション

Challenge to Novel Cardiovascular Peptides

会長講演

1セッション

My Clinical Research in Cardiovascular Medicine

特別講演 1、2、5～10

8セッション

SL01. New Concepts in Endothelial Function

SL02. Targeting Atherosclerosis beyond High-Intensity Statin Therapy

SL05. Novel Oral Anticoagulants in the Management of the Patient with Acute Coronary Syndrome

SL06. The Natriuretic Peptides and Cardiometabolic Health: From Base Pairs to Bedside

SL07. Arrhythmogenic Right Ventricular Dysplasia: What Have We Learned?

SL08. The State and Future of Research Using Clinical Registries

SL09. NLRP3 Inflammasome in Atherosclerosis

SL10. Molecular Links between Metabolic and Cardiovascular Diseases

プレナリーセッション 1～9 全て

9セッション

PL01. New Multi-Modality Cardiovascular Imaging and the Dedicated Management of Diseases

PL02. 世界の潮流を見据えた日本型臨床研究のあり方を探る

PL03. 大動脈ステントグラフト治療と直達手術：遠隔成績を中心に

PL04. 心臓突然死への挑戦

PL05. Current Strategies of Diagnosis and Treatment in Aortic Valve Disease

PL06. Frontiers of Novel Procedure and Device-based Strategies on the Management of Hypertension and Cardiovascular Disease: from Basic to Clinical Research

PL07. 全身血管病管理から見た末梢動脈疾患へのアプローチ

PL08. わが国の循環器領域における TR/臨床試験の最前線

PL09. Future Perspective in Atherosclerosis Research: Seeking for Novel Therapeutic Targets against Cardiovascular Diseases

シンポジウム

8セッション

SY01. Inflammation and Atrial Fibrillation

SY03. Novel and Advanced Therapy against Acute Coronary Syndrome —From Bench to Bedside—

SY04. 循環器病研究における医療開発政策

SY05. Heart Failure as a Systemic Disease

SY07. Pathophysiological Analysis of the Hereditary Heart Disease Using iPSCs Cells

SY10. The Importance of the Right Ventricle in Adult Congenital Heart Disease —Physiological Properties, Diagnosis, and Management of Right Heart Failure in ACHD—

SY17. Cardiovascular Research Using Next Generation Sequencer

SY18. Pregnancy and Delivery in Cardiac Disease

会長特別企画 1～12 全て

12セッション

SS01. 日本における心臓移植の歴史と今後の課題

SS02. 日本循環器学会創立80周年記念企画 日本発—循環器治療の歴史

SS03. Recent Progress in Catheter Mapping and Ablation

SS04. 糖尿病合併の冠動脈疾患に対する治療戦略

SS05. 大規模レジストリーの将来展望

SS06. Epigenetics and Cardiovascular Disease

SS07. Cardiogenesis and Cardiovascular Diseases

SS08. 循環器疾患におけるデータマネージングの重要性

SS09. Rapid Development of Antithrombotic Therapy: Current Status and Future Directions

SS10. Therapeutic Strategies of Coronary Artery Disease from the Point of View of Vasomotion and Microvascular Function

SS11. 日本人の血栓性素因

SS12. 循環器疾患における先制医療：新しい画像診断とバイオマーカーの応用

ジョイントシンポジウム 1～5 全て

5セッション

1. KSC-JCS Joint Symposium

Current Topics and Future Collaboration of Cardiovascular Surgery between Korea and Japan

2. CSC-JCS Joint Symposium

Heart Failure-From Basic to Clinical

3. ACC-JCS Joint Symposium

Current Topics of Non-vitamin K Antagonist Oral Anticoagulants

4. ESC-JCS Joint Symposium

Coronary Vasomotion Abnormalities

5. AHA-JCS Joint Symposium

Diabetes and Heart Failure ~ The Joint Risk ~

Meet the ESC

2セッション

1. Meet the ESC in Japan Session 1

Diagnosis and Treatment of Heart Failure with Preserved Ejection Fraction in Europe and Japan

2. Meet the ESC in Japan Session 2

Recent Advances in the Management of Pulmonary Hypertension Based ESC and JCS Guidelines

Late Breaking Clinical Trials

4セッション

LBCT1. Late Breaking Clinical Trials 1

LBCT2. Late Breaking Clinical Trials 2

LBCT3. Late Breaking Clinical Trials 3

LBCT4. Late Breaking Clinical Trials 4

Late Breaking Cohort Studies

5セッション

LBCS1. Late Breaking Cohort Studies 1

LBCS2. Late Breaking Cohort Studies 2

LBCS3. Late Breaking Cohort Studies 3

LBCS4. Late Breaking Cohort Studies 4

LBCS5. Late Breaking Cohort Studies 5

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

DVDに収録されている座長・演者名(ご所属)及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL 0120-046-844

FAX : 03-6368-9509

Mail : jcsdvd@medicalvista.jp

第79回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥7,500 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、

又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第79回学術集会DVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2015 年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い	
ご住所 (ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先	TEL :	FAX :
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS79

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託

株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp

和文論文投稿誌 のご案内

論文投稿および教室・病院賛助会員加入のお願い

☆投稿論文掲載者は循環器専門医認定更新に必要な研修単位を3単位取得できます。

「心臓」は、日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している循環器領域専門の和文投稿誌です。循環器領域の若手研究者を育てる和文投稿を中心に、最新のトピックスや研究会など、充実した内容をお届けしています。

教室(医局)・病院(医員)賛助会員には、毎月「心臓」をお届けし、本誌にお名前を掲載させていただいております。ぜひご協力ください(年間一口5万円以上)。

「心臓」

発行：公益財団法人日本心臓財団、一般社団法人日本循環器学会

制作・販売：株式会社日本医学出版

定価：2,000円＋税

編集委員会

山口 徹(編集委員長)、代田浩之(副編集委員長)、磯部光章、小野 稔、加藤貴雄、木村一雄、倉林正彦、佐地 勉、竹石恭知、新田 隆、百村伸一、山科 章



賛助会員に関するお問い合わせ

公益財団法人日本心臓財団

電話：03-5324-0810

投稿・購読に関するお問い合わせ

(株)日本医学出版「心臓」編集室

電話：03-5800-2350

2016年発行予定のご紹介

48巻1号(1月15日発行) 特集：循環器ガイドラインの功罪

48巻2号(2月15日発行) 特集：スポーツにおける循環器疾患

48巻3号(3月15日発行) 特集：今日の静脈疾患診療

心臓特別号(3月刊行予定) 特集：弁膜症 大動脈弁狭窄と逆流(非売品)

以下続刊

事務局からのお知らせ

〈住所／勤務先変更の届出について〉

毎月の「CJ」や各地方会の開催案内、プログラム等を確実にお手許にお届けできるよう、適時、住所／勤務先変更の届出をお願いしております。

ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)より、会員限定ページにて変更登録をお願い致します。または、次ページの「登録事項変更届」をご利用ください。

なお、学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで発信する機会が増えておりますので、可能な限りEメールアドレスをお届け下さいますようお願い致します。

〈会員限定 HP へのアクセス等について〉

- UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)のID を利用しての会員のみのアクセス制限をしております。
- 新規ご入会の先生につきましては、当学会にてUMINID の取得申請を代行しております。ご入会手続き後にUMINID が取得次第、順次ID と仮パスワードを郵送致します。

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡下さい。

(一社)日本循環器学会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

各業務担当メールアドレス・電話番号のご案内		
	メールアドレス	電話番号
代表(下記のどの担当か不明の場合)	admin@j-circ.or.jp	03-5501-0861
総務(登録事項変更・入会・退会等)	soumu@j-circ.or.jp	
編集(Circulation Journal 関連)	cj@j-circ.or.jp	
情報広報(購読・HP・地方会)	webmaster@j-circ.or.jp	
BLS/ACLS 関連事業(AHA 心肺蘇生法講習他)	itc@j-circ.or.jp	
国内交流(国内学会とのジョイントシンポジウム)	kokunai@j-circ.or.jp	
IT/Database(JROAD 他)	ITDatabase@j-circ.or.jp	03-5501-0862
学術集会	meeting@j-circ.or.jp	
国際交流	international@j-circ.or.jp	
ガイドライン関連	jcsGL@j-circ.or.jp	
男女共同関連	jcs-danjyo@j-circ.or.jp	03-5501-0863
経理(各請求書・年会費等)	keiri@j-circ.or.jp	
禁 煙	nonsmoking@j-circ.or.jp	
予防関連	j-yobou@j-circ.or.jp	03-5501-0864
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp	

FAX(業務共通)

03-5501-9855

ホームページ URL

<http://www.j-circ.or.jp/>

一般社団法人 日本循環器学会

登録事項変更届

[会員専用ページからお届けが可能です]

TEL (03) 5501-0861

FAX (03) 5501-9855

E-mail: soumu@j-circ.or.jp

ホームページ: <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号:	生年月日(西暦):	年	月	日	(歳)
フリガナ:					
会員氏名:					
(旧姓名:)					
勤務先:					
名 称					
部・科					
役 職					
所在地 〒 —					
代 表 TEL () — FAX () —					
内線					
直 通 TEL () — FAX () —					
旧勤務先名称:					
自 宅: 〒 —					
TEL () — FAX () —					
旧自宅住所:					
E-mail:					
変更希望日: 年 月 日 変更					
送本先(連絡先): ☐ 勤務先 ☐ 自宅					
退 会 届: 年 月 日をもって退会します。					
※年会費の未納分がある場合、納入があった年度の末日をもって退会となります					
退会事由:					
事務局への通信欄:					

学会誌「Circulation Journal」の送本について

Circulation Journal は、正会員の希望者のみへの送本を実施しております。

送本ご不要のお手続きは、本用紙でも受付けております。

※ 送本停止対象はCJ 英文誌のみで、会告、ガイドライン誌、循環器専門医誌は今まで通り送本されます。

※ CJ 送本不要を申し出られた方のみ、送本を停止します。

※ CJ 送本不要でも、年会費に変更はありません。

※ なお、全掲載論文を Online Journal(J-STAGE)にて無料公開しております。

[URL: http://www.j-circ.or.jp/journal/online%20Journal.htm](http://www.j-circ.or.jp/journal/online%20Journal.htm)

以 上

英文誌 Circulation Journal の送本が不要な場合はこちらをチェックして下さい
(上欄の氏名・会員番号の記載もお願い致します)

→ ☐

* ご提供いただきました個人情報、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

* 重要なお知らせを E-mail でお届けする機会が増えております。ぜひメールアドレスをご登録ください。

「準会員」制度のご案内

日本循環器学会では、2014年4月1日から「準会員」制度を開始いたしました。

「準会員」は、主に医師が在籍する「正会員」とは別に、医師以外の医療業務従事者(例：看護師、臨床工学技士など)を対象とする会員制度です。

現在「正会員」で在籍いただいている医師以外の方は「準会員」に会員区分を変更することができますので、ご検討いただければ幸いです。

(なお、準会員には変更せず従来どおり正会員として在籍し続けることも可能です。その際、手続きは特にございません。)

《「準会員」は、以下のような方にお勧めの制度となっております》

- 「Circulation Journal」など医師向けの雑誌の送付は必要ない
- 学会の社員選挙に関する権利は必要ない
- 医師ではないので循環器専門医資格は必要ない
- 学術集会で演題を発表したい
- 学会の会員専用ページを閲覧したい
- 医師向けの権利は必要ないで年会費を安くしてほしい など

Q. 「準会員」の年会費は？

準会員の年会費は正会員よりも低額です

準会員：8,000円／正会員：15,000円

Q. 「準会員」になることができるのは？

看護師や臨床工学技士などの
医師を除く医療業務従事者全般が対象となります
(医師は準会員になることはできません)

- ① この法人の目的に賛同すること
- ② 医師を除く医療業務従事者であること

Q. 「準会員」に与えられる権利は？

準会員の権利は以下のものになります(正会員の権利の中から「医師が対象」となるものが制限されます)

- ① 社員総会に出席し意見を述べること(※議決権はございません)
- ② 本会の社員総会議事の要領及び議決した事項について、会告にて通知をうけること
- ③ 本会の学術集会において研究成果を発表し、報告を行うこと
- ④ 別途理事会が定めるところにより、本会の発行する学会学術誌及びその他の学術刊行物の配布をうけること(※「会告」、「学術集会プログラム集」などに限定されます)
- ⑤ 本会ホームページの会員限定ページを閲覧すること

「正会員」との違い

- 社員(旧：評議員)選挙の選挙権及び被選挙権がない
- 本会の役員になることができない(理事、監事、支部評議員など)
- 「Circulation Journal」「専門医誌」「ガイドライン」など、医師向けとなる学会学術誌をうけることができない
- 本会の循環器専門医資格を有することができない(また、準会員である期間は試験受験要件の「学会の会員歴」に含まれない)

Q. 現在「正会員」として在籍しているが、会員区分を「準会員」に変更するには？

2016年4月1日からの変更をご希望の場合は以下のようにご対応ください

- ① 2016年3月31日までに事務局に次ページ「会員区分変更届」を提出する
- ② 2016年3月31日までに今年度までの年会費をすべて完納する(未納の場合、申請は無効となります)

※注意

事業年度は4/1～3/31

年度途中の日付での変更は認められず、申請があった年度の翌年度4月1日付で変更となります。

例1. 2016年2月15日に変更申請→「2016年4月1日」から準会員となる

例2. 2016年4月5日に変更申請→「2017年4月1日」から準会員となる(2016年度中は「正会員」のまま)

会員区分変更をご希望の場合、次ページ「会員区分変更届」をご提出下さい。

【お問合せ先：事務局 総務まで(TEL：03-5501-0861 / E-mail:soumu@j-circ.or.jp)】

会 員 区 分 変 更 届

住所：〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 18F

E-mail: soumu@j-circ.or.jp / FAX (03) 5501-9855

現在の会員番号：		生年月日：19 年 月 日（ 歳）	
フリガナ：		性 別： ☐ 男性 ☐ 女性	
会員氏名： (旧姓名：)		資格名（医師、看護師等）：	
勤務先： 名 称 部・科 役 職 所在地 〒 — 代 表 TEL() — FAX() — 内線 直 通 TEL() — FAX() —			
自 宅： 〒 — TEL() — FAX() —			
E-mail（※変更が完了した際に案内を送信するため必須）：			
変更を希望する会員区分： ☐ 正会員から準会員への変更 ☐ 準会員から正会員への変更			
変更希望年度： 年度（4月1日付け）変更		送本先(連絡先)： ☐ 勤務先 ☐ 自宅	
【準会員→正会員への変更のみ】英文誌 Circulation Journal の送付を： ☐ 希望する ☐ 希望しない			
事務局への通信欄：			

* ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。